

モクレポ



○福岡おもちゃ美術館（福岡市博多区）

おかげさまで創刊1周年!

令和4年10月

No.13

特集

- 2021年木材需給表の概要
- 第3回ウッド・チェンジ協議会
- 建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示ガイドラインの活用事例
- 森林経営管理制度の取組状況(令和3年度末速報値)
- 令和3年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

林野庁

CONTENTS 令和4年10月号

- 特集**
- 1 2021年木材需給表の概要 **特集1**
 - 2 第3回ウッド・チェンジ協議会 **特集2**
 - 3 建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示ガイドラインの活用事例 **特集3**
 - 4 森林経営管理制度の取組状況(令和3年度末速報値) **特集4**
 - 5 令和3年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況 **特集5**

01 基礎的指標

- 1 新設住宅着工戸数 **基礎1**
- 2 新設住宅着工床面積 <参考>非居住用建築物着工床面積 **基礎4**
- 3 木材産業の業況 **基礎8**
- 4 USドル及びユーロ為替相場 **基礎9**
- 5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃 **基礎10**
- 6 中国の木材輸入量、EUにおける建設活動水準 **基礎11**

02 木材価格情報

- 1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格 **価格1**
- 2 木材価格(農林水産統計) **価格3**

03 木材需給情報

- 1 需要量、供給量、自給率の動向 **需給1**
- 2 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向 **需給4**
- 3 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向 **需給5**
- 4 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向 **需給6**
- 5 燃料材(国内生産)利用量、紙品種別生産高 **需給7**
- 6 素材生産量 **需給8**
- 7 木材生産の産出額 **需給9**

04 林産物輸出入情報

- 1 林産物輸出額 **輸出入1**
- 2 木材輸出額 **輸出入2**
- 3 木材輸入額 **輸出入3**
- 4 木材輸入量 **輸出入4**
- 5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価 **輸出入10**

05 特用林産情報

- 1 特用林産物の国内生産量 **特産1**
- 2 特用林産物の産出額 **特産2**
- 3 特用林産物の輸出入量 **特産3**
- 4 特用林産物の輸出額 **特産4**
- 5 きのこと類の卸売量・価格 **特産7**

06 セミナー・イベント情報

- 10月中旬以降の開催情報 **イベント1**

特集-1 2021年木材需給表の概要

- 2021年の我が国の木材の需要量と供給量を示す木材需給表を9月30日に公表。
- 2021年の総需要量は8,213.2万^m（対前年比+769.3万^m、110.3%）で、2019年（コロナ禍前）の水準に回復。
- 国内生産量は、建築用材（製材用と合板用の計）等の増加により、3,372.3万^m（対前年比+257.4万^m、108.3%）となり、2010年から12年連続で増加。
- 輸入量は、パルプ・チップ用材、燃料材等の増加により、4,840.9万^m（対前年比+511.9万^m、111.8%）に増加。
- 木材自給率（※）は、輸入量の増加が国内生産量の伸び率を上回ったため、前年から0.7ポイント低下の41.1%。一方、建築用材等の自給率は、48.0%（+0.8ポイント）に上昇。（※ 木材自給率（%）=国内生産量÷総需要量×100）

2021年木材需要(供給)量

(単位:万^m、%)

	総供給量	用材	建築用材等		パルプ・チップ用材	その他用材	燃料材	しいたけ原木
			製材用材	合板用材				
総需要量	8,213.2 (+769.3)	6,714.2 (+575.0)	2,617.9 (+158.2)	1,029.4 (+137.5)	2,874.3 (+267.9)	192.6 (+11.4)	1,474.4 (+193.9)	24.6 (+0.4)
国内生産量 (国産材)	3,372.3 (+257.4)	2,412.7 (+214.7)	1,286.1 (+124.6)	466.1 (+46.6)	474.4 (+32.4)	186.2 (+11.2)	935.0 (+42.3)	24.6 (+0.4)
輸入量	4,840.9 (+511.9)	4,301.5 (+360.3)	1,331.8 (+33.6)	563.3 (+90.9)	2,400.0 (+235.6)	6.5 (+0.3)	539.4 (+151.6)	—
輸入製品	4,453.0 (+454.6)	3,913.6 (+303.0)	990.3 (△21.8)	520.1 (+90.8)	2,398.3 (+234.0)	4.9 (+0.0)	539.4 (+151.6)	—
輸入丸太	387.9 (+57.3)	387.9 (+57.3)	341.5 (+55.4)	43.2 (+0.1)	1.7 (+1.6)	1.5 (+0.2)	0.0 (0.0)	—
自給率(%)	41.1 (△0.7)	35.9 (+0.1)	48.0 (+0.8)		16.5 (△0.5)	96.6 (+0.0)	63.4 (△6.3)	100.0 (0.0)

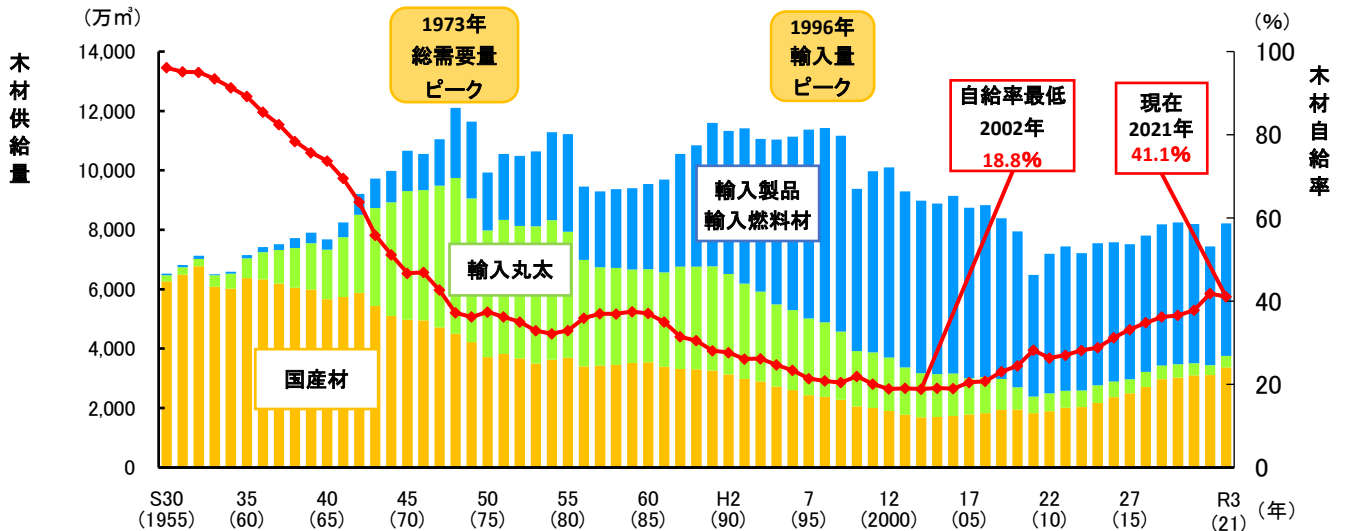
注1:下段の()の数値は、前年からの増減量。

2:「その他用材」は、輸出用丸太、枕木、電柱、杭丸太、足場丸太、改良木材、のこず・木くず等。

3:自給率(%)=国内生産量÷総需要量×100

4:数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材供給量及び木材自給率の推移



2021年木材需給表の詳細は、次のURLをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokuzai_zyukyu/index.html

特集-2 第3回ウッド・チェンジ協議会

- 林野庁は、10月の木材利用促進月間を前に木材利用に関する機運を醸成するため、9月30日に「ウッド・チェンジ協議会」(※)の第3回会合を会員団体や企業出席の下開催。
- 勝俣農林水産副大臣からの挨拶で開会し、隅修三協議会会長(東京海上日動火災保険株式会社 相談役)による特別講演、会員団体・企業によるウッド・チェンジへの取組や木材利用促進月間等に関するイベント等に関する情報交換や意見交換を実施。

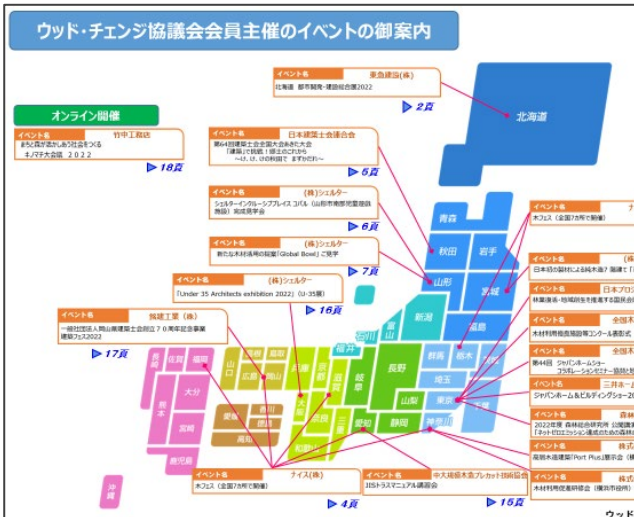
※ 民間建築物等における木材利用の促進に向けて川上から川下までの幅広い関係者が一堂に参画する官民協議会



(左)本協議会への期待を語る勝俣副大臣
(右)特別講演を行う隅会長
(下)本会合の様子



第3回ウッド・チェンジ協議会資料より (林野庁HPに掲載)



▶ 木材利用促進月間等に関するイベント等

東京海上日動火災保険株式会社

ウッド・チェンジ・アクション

<新・本店ビル計画> 2024年11月竣工→2025年春稼働

◆ 国産木材を使い、木の使用量が世界最大規模となる高さ100mの「木の本」ビルへ

◆ 新・本店ビルは、構造部材である柱、床に国産木材をふんだんに使い、木の使用量が世界最大規模となる高さ100mの「木の本」ビルとして生まれ変わります。

◆ 木の木材の需要が、我が国の林業の再生や地方における雇用の創出、ひいては地方創生、地域循環型経済の構築に寄与することを願っています。また、CO2を吸収・貯蔵する機能を持つ木材を大量に使用することにより、脱炭素社会の実現に貢献します。

今後のチャレンジ

- ◆ 一般的なビルに比べて建築時のCO2排出量を3割程度削減することに加え、高効率の設備や地域冷暖房の採用、使用電力に100%再生可能エネルギーを導入するなどの施策により、省エネルギーの推進、脱炭素社会の実現に貢献します。
- ◆ 東京海上グループは、これからもステークホルダーの皆様とともに、災害レジリエンスの向上、健やかで心豊かな生活の支援、気候変動対策の推進、D&Iの推進・浸透に繋がる取り組みを通じて、SDGsの達成に貢献してまいります。

※ 高層ビルグリーンビル認証プログラムである、LEED v4.0 における「LEED for Building Design and Construction: New Construction」のプラチナレベル(Platinum)の申請を予定中

東京海上日動火災保険株式会社ホームページ: <https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

▶ 協議会にて説明された、会員団体・企業によるウッド・チェンジへの取組

ウッド・チェンジのロゴマークは、趣旨に賛同し、林野庁HPで利用登録すると、ご利用いただけます。

第3回ウッド・チェンジ協議会資料(会員団体・企業による取組やイベント等)は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wckyougikai.html>

特集 2

建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示ガイドラインの活用事例

- 林野庁では、2021年10月、建築物の所有者や建設事業者が木材の炭素貯蔵効果を「見える化」して対外的にPRできるように、炭素貯蔵量の計算方法や表示方法を示したガイドライン（以下、「ガイドライン」）を策定。
- 民間事業者や行政におけるガイドラインの活用が進んでいるところ。

MOCXION INAGI(モクシオン稲城)



▲モクシオン稲城の外観

- 三井ホーム株式会社が東京都稲城市に建設した、木造（一部鉄筋コンクリート造）5階建ての賃貸マンション。
- 信州カラマツによる2×10材を床根太として採用しているほか、三井不動産グループの保有林におけるトドマツ間伐材などを活用。
- 同社ウェブサイト（上記URL）では、炭素貯蔵量の計算結果など、建築物を木造とすることによる環境負荷の低減の効果を発信。

＜炭素貯蔵量＞
約740
t-CO₂



<https://www.mitsuihome.co.jp/property/mocxion/>

流山市立おおぐろの森中学校



＜炭素貯蔵量＞
約2,853
t-CO₂

▼中学校の外観



▲校内に掲示された炭素貯蔵量のサイン

- 千葉県流山市に建設された、木造（一部鉄筋コンクリート造・鉄骨造）3階建ての中学校。
- 千葉県産スギと長野県信濃町産カラマツを使い、構造材を含めた大部分で地域材の使用を実現。
- 木材使用量と炭素貯蔵量の計算結果は、木製のサインで校内に掲示され、生徒に木材利用による地球温暖化防止への貢献を学ぶ機会を提供。

林野庁 中部森林管理局管内の庁舎

施設名	国産材 使用量 (m ³)	国産材の 炭素貯蔵量 (t-CO ₂)	木材全体 利用量(m ³)	木材全体の 炭素貯蔵量 (t-CO ₂)
富山森林管理署庁舎	141	88	141	88
北信森林管理署庁舎	110	81	110	81
岐阜森林管理署庁舎	93	64	93	64
南木曾支署庁舎	105	76	106	78
森林技術・支援センター庁舎	116	73	116	73
合計	565	382	566	384

＜炭素貯蔵量＞
約384
t-CO₂

※炭素貯蔵量を公表した5庁舎（左表）の炭素貯蔵量の合計



▲森林技術・支援センター庁舎の外観(左)と内観(右)

- 林野庁中部森林管理局は、ガイドラインに基づき、2007年以降に建築した森林管理署等の5庁舎の炭素貯蔵量を算定し、2022年9月に公表。



<https://www.rinya.maff.go.jp/chubu/policy/business/sigoto/mokusan/tansochozouryou.html>

公益財団法人日本住宅・木材技術センターの「中大規模木造建築データベース」において建築物の炭素貯蔵量を公開。



<https://daimoku.jp/>

とっとりカーボンストレージ認証制度



※これまで認証された県産材の二酸化炭素固定量の合計（2022年9月15日時点）

＜炭素貯蔵量＞
約87
t-CO₂

▼制度概要と認証施設一覧

<https://www.pref.tottori.lg.jp/303012.htm>



▲認定書（県特産の因州和紙製）

- 鳥取県は、非住宅建築物への県産材の利用促進と、県産材利用が地球温暖化防止に貢献していることの普及・啓発を目的として、ガイドラインを活用し、非住宅建築物への県産材利用による二酸化炭素固定量（炭素貯蔵量）を評価・認証する制度を実施。
- 認定された建築主には、県産材を利用した施設のPRや、建築主のCSR（企業の社会的責任）・SDGs（持続可能な開発目標）活動の証となる認定書を送付。

ガイドライン及び炭素貯蔵量計算シートについては、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/mieruka.html>



特集-4 森林経営管理制度の取組状況（R3年度末速報値）

- 令和3年度末までに、私有林人工林があり、森林経営管理制度の活用が必要な市町村（※）の約9割で同制度に係る取組を実施、約7割で意向調査を実施。
- 令和3年度末の集積計画（市町村が森林所有者から受託）と配分計画（市町村から林業経営者へ再委託）の策定面積は、前年度末から約3倍に増加。

※「森林経営管理制度の活用が必要な市町村」とは、私有林人工林がある市町村から、私有林人工林が極めて少ない等、整備・活用の必要性が低い市町村、既存の仕組みで経営管理を進める市町村、既にほとんどの人工林で経営管理が行われている市町村を除いたもの（令和3年度末時点で1,312市町村）。

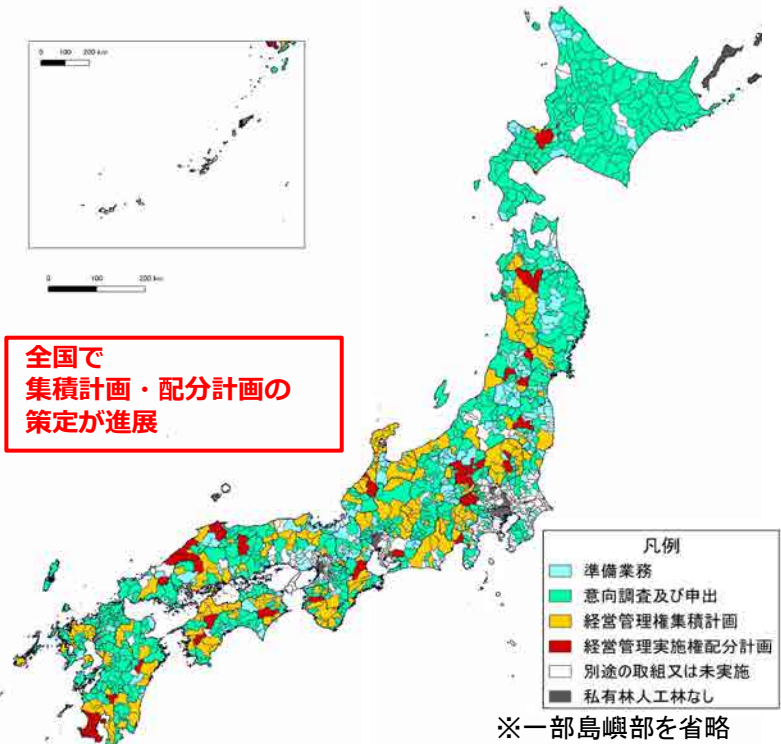
📍 全国の市町村の取組状況

【意向調査】

- 令和3年度末までに、全国の**1,223市町村**で、森林経営管理制度に係る取組を実施。そのうち、**973市町村**で、森林所有者への意向調査等を実施。
- 令和3年度における意向調査の実施面積は**約19万ha**。制度開始から3年間で**約60万ha**を実施。

【集積計画・配分計画】

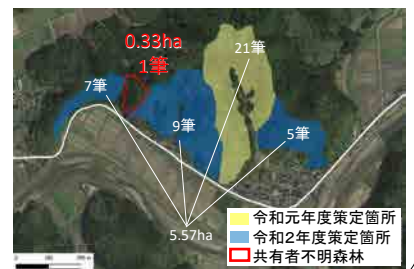
- 令和3年度末までに、**262市町村**が、**9,154ha**の集積計画を策定。そのうち、**47市町村**が、**1,105ha**の配分計画を策定。
- いずれの策定面積も、前年度末から、**約3倍に増加**。



森林の経営管理の集積・集約化に係る取組状況

＜共有者不明森林制度等の取組事例＞

- 京都府綾部市では、モデル地区（16ha）を設定し、制度に係る取組を実施中。共有者不明森林制度等の特例も併せて活用する方針。
- 令和元年度に意向調査を実施し、所有者の探索を行いながら合意形成に取り組み、2021年4月までに、5.57haで集積計画を策定。
- 残る0.33haの森林（25名の共有名義の森林）について、探索の結果、147名の共有者が判明。139名の同意を取得したものの、3名は宛先不明、5名は返信がない等の状況。共有者不明森林等の特例活用に向けた手続を実施中。



森林経営管理制度についての詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/sinrinkeieikanriseido.html>

「森林経営管理制度の取組状況」については、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/attach/pdf/sinrinkeieikanriseido-64.pdf>

「所有者不明森林等の特例措置活用のための留意事項（ガイドライン）」は、次のURLをご覧ください。

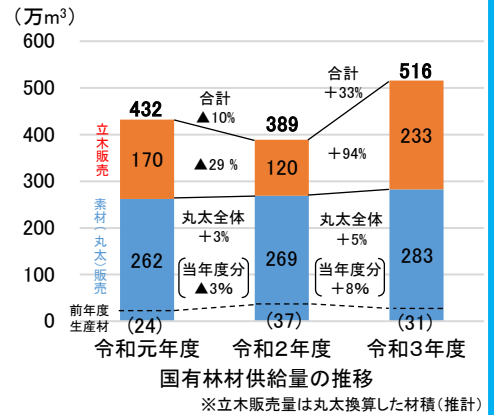
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/kentoukai.html>

令和3年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況

- 9月30日に「令和3年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」を公表。
- 令和3年度における取組のトピックスとして、木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応と、奄美・沖縄の世界自然遺産登録への国有林の貢献を紹介。

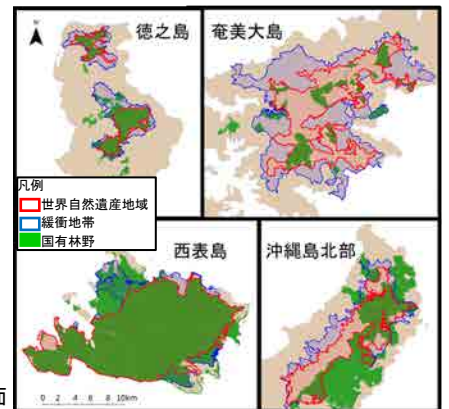
トピックス1 国有林野事業における木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応

- 2021年に入って、我が国の住宅需要が回復する中、輸入木材が不足し、国産丸太への需要が高まったことを受けて、国有林材供給調整検討委員会の意見も踏まえ、立木販売物件の前倒し販売等を実施。
- 地域事情を踏まえつつこれらの対応に努めた結果、令和3年度の国有林材供給量は前年度比約3割増加。
- こうした取組について、国有林材供給調整検討委員会では「国有林で行った供給調整には一定の効果があつた」と評価。

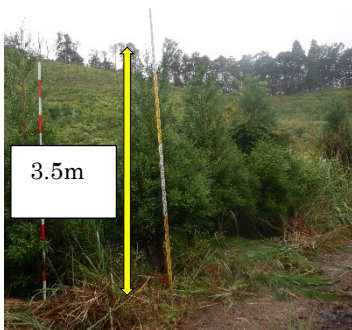


トピックス2 「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」の世界自然遺産登録と国有林の貢献

- 2021年7月に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録。
- 九州森林管理局では、遺産地域の面積（約4万3千ha）の約7割を占める国有林野のほぼ全域について、1991年から順次「森林生態系保護地域」に設定。
- 希少種保護のための巡視、外来植物の分布状況調査及び駆除、希少動物の密猟防止等に係る啓発等の取組を行い、森林を厳格に保護・管理。



国有林野を名実ともに「国民の森林」としていくための取組を実施



成長の優れた苗木を活用した造林



大規模山地災害発生時における
専門家等との合同調査



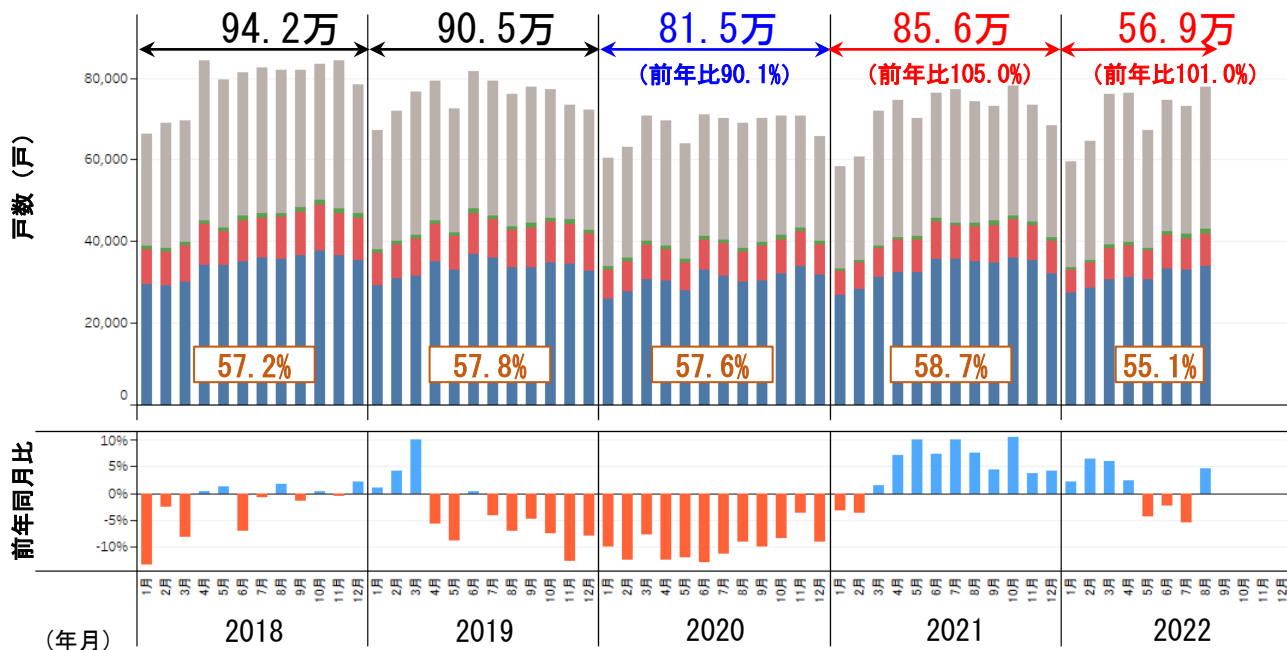
環境省と連携した
シマフクロウの保護

「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」は、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/jissi/index.html



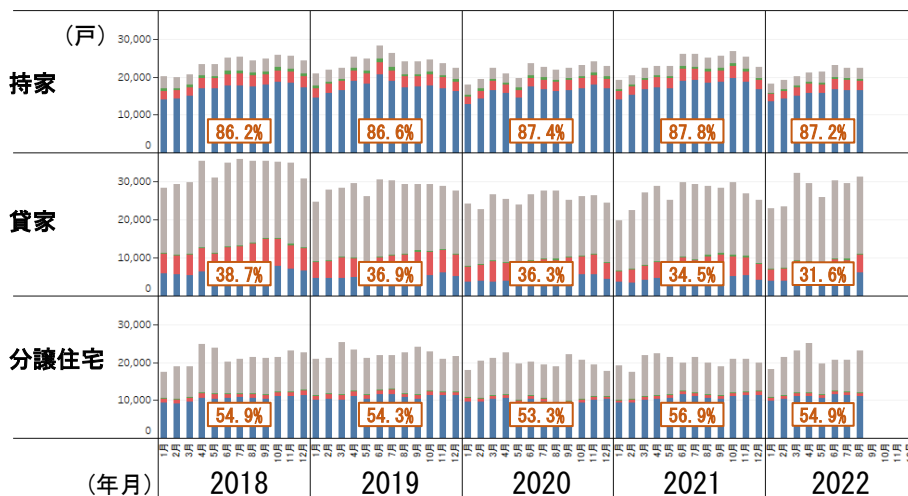
基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

- 2021年の新設住宅着工戸数は、85.6万戸（前年比105.0%）、このうち木造住宅は50.2万戸（同107.0%）
- 2022年1～8月の新設住宅着工戸数は、56.9万戸（前年同期比101.0%）、このうち木造住宅は31.3万戸（同96.4%）。



(単位：戸)

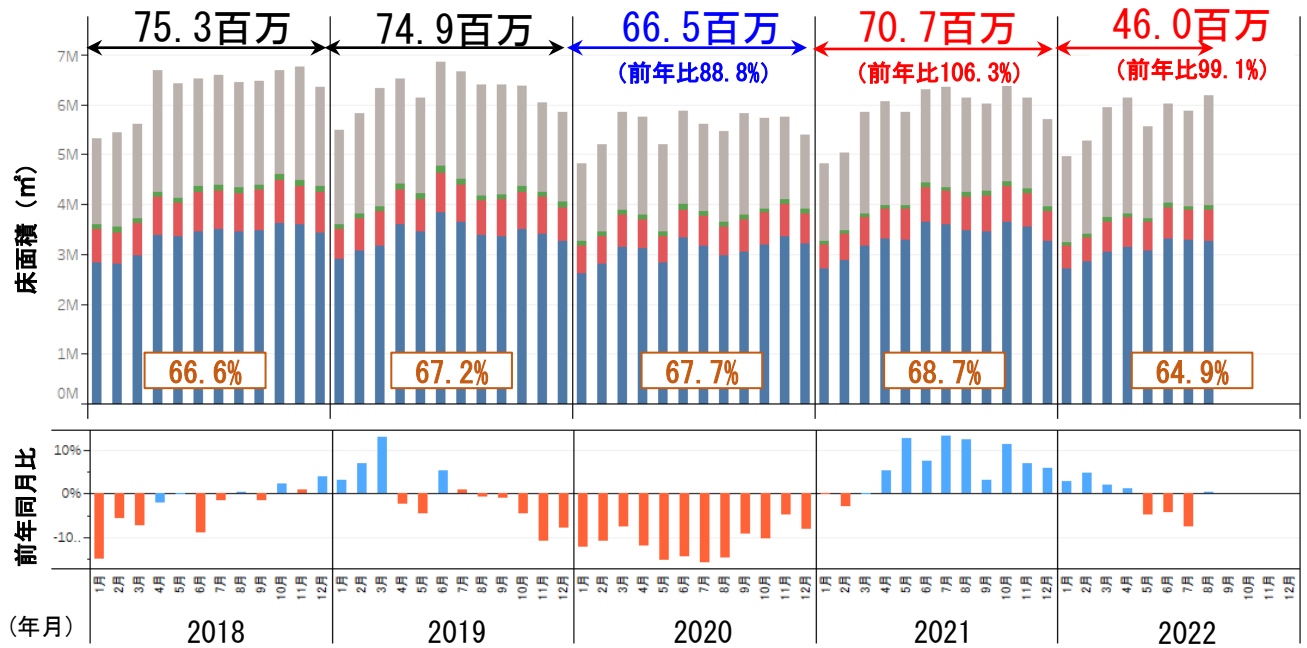
構造別の着工戸数	2022年 1～8月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	569,200	563,495	101.0%	538,028	105.8%
■非木造	255,712	238,431	107.2%	233,655	109.4%
木造	313,488	325,064	96.4%	304,373	103.0%
■木造プレハブ	6,436	6,518	98.7%	7,048	91.3%
■2×4	58,616	61,092	95.9%	60,061	97.6%
■在来軸組	248,436	257,454	96.5%	237,264	104.7%
□木造率	55.1%	57.7%		56.6%	



資料：国土交通省「住宅着工統計」

基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

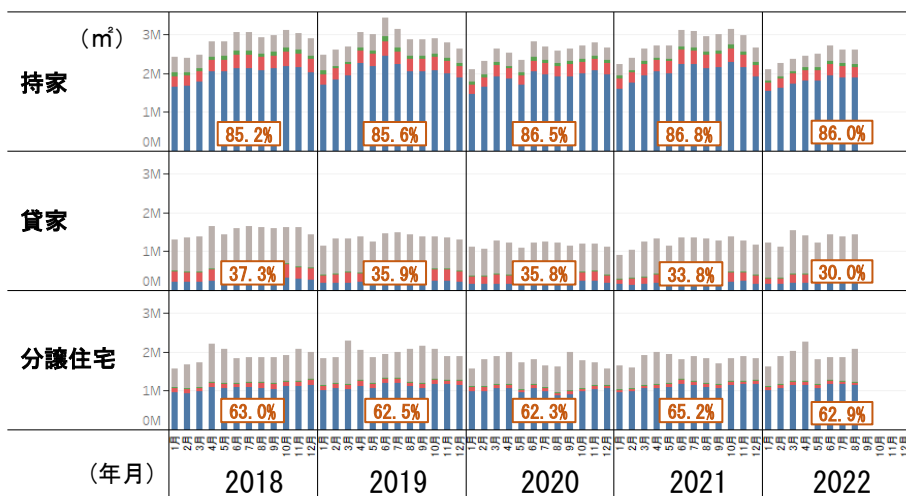
- 2021年の新設住宅着工床面積は、70.7百万㎡（前年比106.3%）、このうち木造住宅は48.6百万㎡（同107.9%）。
- 2022年1～8月の新設住宅着工床面積は、46.0百万㎡（前年同期比99.1%）、このうち木造住宅は29.9百万㎡（同94.6%）。



(単位：千㎡)

構造別の 着工床面積	2022年 1～8月	前年 同期	前年 同期比	前々年 同期	前々年 同期比
合計	45,987	46,419	99.1%	43,760	105.1%
■ 非木造	16,125	14,848	108.6%	14,467	111.5%
木造	29,862	31,571	94.6%	29,292	101.9%
■ 木造プレハブ	646	676	95.5%	726	88.9%
■ 2×4	4,541	4,840	93.8%	4,605	98.6%
■ 在来軸組	24,675	26,055	94.7%	23,961	103.0%
□ 木造率	64.9%	68.0%		66.9%	

(参考) 利用関係別の着工床面積 (ただし、「給与住宅」を除く。)



資料：国土交通省「住宅着工統計」

<参考> 非居住用建築物着工床面積

(単位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
				木造		非木造	
					前年比		前年比
2019年	1	3,970	101	259	84	3,711	102
	2	3,700	85	243	96	3,457	84
	3	3,334	81	294	105	3,040	79
	4	4,440	96	354	105	4,085	95
	5	4,170	99	327	103	3,844	99
	6	4,641	102	377	102	4,264	102
	7	4,980	100	452	122	4,527	99
	8	3,987	95	479	131	3,508	91
	9	3,609	82	431	96	3,179	80
	10	3,922	85	409	99	3,513	84
	11	3,750	90	386	102	3,364	89
	12	4,184	97	330	92	3,854	98
2020年	1	2,973	75	228	88	2,745	74
	2	3,605	97	230	95	3,374	98
	3	3,718	112	280	95	3,437	113
	4	4,086	92	312	88	3,774	92
	5	4,078	98	259	79	3,818	99
	6	3,798	82	347	92	3,451	81
	7	3,855	77	323	71	3,532	78
	8	3,662	92	371	77	3,291	94
	9	3,891	108	416	97	3,476	109
	10	3,635	93	400	98	3,235	92
	11	3,371	90	346	90	3,025	90
	12	3,565	85	308	93	3,257	85
2021年	1	3,364	113	246	108	3,118	114
	2	3,345	93	241	105	3,104	92
	3	4,272	115	287	103	3,984	116
	4	4,207	103	347	111	3,861	102
	5	4,277	105	307	119	3,970	104
	6	4,275	113	327	94	3,948	114
	7	4,082	106	344	107	3,738	106
	8	3,127	85	299	81	2,828	86
	9	3,700	95	307	74	3,394	98
	10	5,328	147	341	85	4,987	154
	11	3,737	111	293	85	3,444	114
	12	4,747	133	281	91	4,465	137
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,919	92	318	104	3,601	91
	6	4,787	112	349	107	4,438	112
	7	4,981	122	346	101	4,636	124
	8	3,971	127	327	109	3,644	129
2019年計		48,687	93	4,341	103	44,346	92
2020年計		44,237	91	3,820	88	40,415	91
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2019年	第1四半期	11,004	89	796	94	10,208	88
	第2四半期	13,251	99	1,058	103	12,193	99
	第3四半期	12,576	93	1,362	115	11,214	90
	第4四半期	11,856	91	1,125	98	10,731	90
2020年	第1四半期	10,296	94	738	93	9,556	94
	第2四半期	11,962	90	918	87	11,043	91
	第3四半期	11,408	91	1,110	81	10,299	92
	第4四半期	10,571	89	1,054	94	9,517	89
2021年	第1四半期	10,981	107	774	105	10,206	107
	第2四半期	12,759	107	981	107	11,779	107
	第3四半期	10,909	96	950	86	9,960	97
	第4四半期	13,812	131	915	87	12,896	136
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,572	106	952	97	12,620	107

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

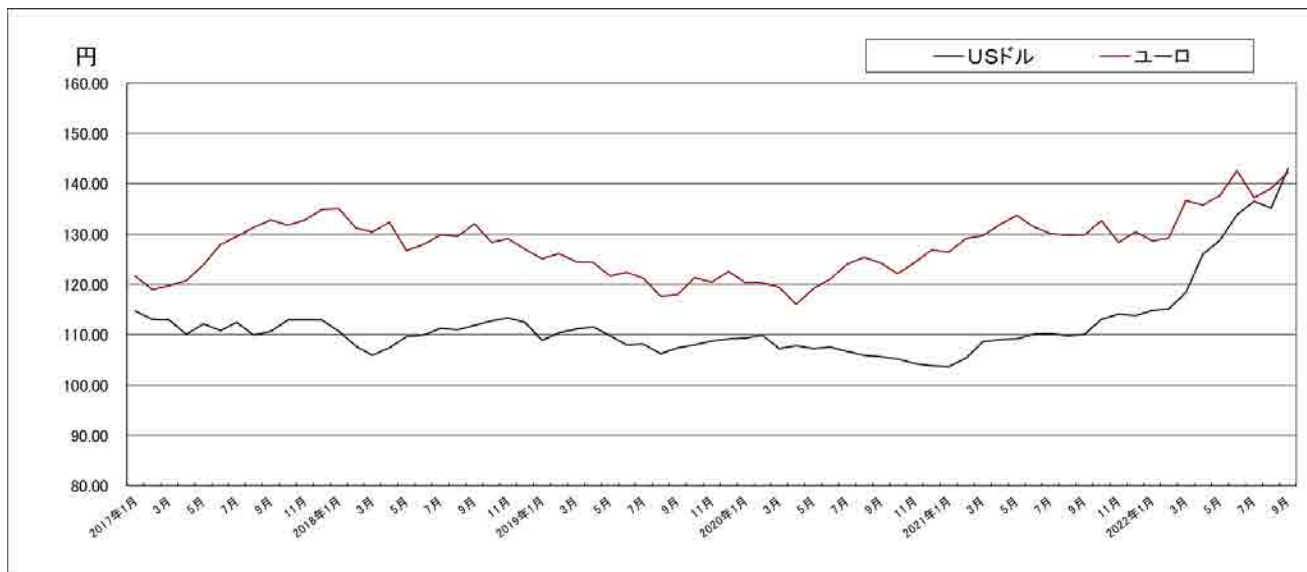
基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2021年は、木材産業の倒産件数が19件（前年比70.3%）、負債金額が4,313百万円（同112.0%）。
- 2022年1～8月は、木材産業の倒産件数が9件（前年同期比56.3%）、負債金額が6,983百万円（同175.3%）。

年・月	企業倒産状況								
	全 企 業				木 材・木 製 品 業				
	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	
2019年	1	666	105	168,374	161	0	-	0	-
	2	589	95	195,534	217	1	100	10	2
	3	662	84	97,114	73	1	33	532	51
	4	645	99	106,916	112	2	50	797	111
	5	695	91	107,465	103	3	100	795	313
	6	734	106	86,957	40	1	25	59	8
	7	802	114	93,400	83	5	500	347	694
	8	678	98	87,149	72	3	300	278	150
	9	702	113	112,985	61	6	300	959	3,197
	10	780	107	88,578	75	2	100	91	1
	11	727	101	122,452	101	2	200	470	904
	12	704	113	156,864	192	4	200	543	32
2020年	1	773	116	124,734	74	0	-	0	-
	2	651	111	71,283	36	0	-	0	-
	3	740	112	105,949	109	1	100	300	56
	4	743	115	144,990	136	10	500	1,280	161
	5	314	45	81,336	76	2	67	320	40
	6	780	106	128,816	148	4	400	444	753
	7	789	98	100,821	108	1	20	89	26
	8	667	98	72,416	83	2	67	150	54
	9	565	80	70,740	63	1	17	637	66
	10	624	80	78,342	88	2	100	57	63
	11	569	78	102,101	83	3	150	550	117
	12	558	79	138,518	88	1	25	25	5
2021年	1	474	61	81,388	65	2	-	180	-
	2	446	69	67,490	95	0	-	0	-
	3	634	86	141,453	134	3	300	327	109
	4	477	64	84,098	58	4	40	50	4
	5	472	150	168,664	207	1	50	120	38
	6	541	69	68,566	53	5	125	3,296	742
	7	476	60	71,465	71	0	-	0	-
	8	466	70	90,973	126	1	50	10	7
	9	505	89	90,860	128	2	200	230	36
	10	525	84	98,464	126	0	-	0	-
	11	510	90	94,101	92	0	-	0	-
	12	504	90	93,181	67	1	100	100	400
2022年	1	452	95	66,940	82	1	50	13	7
	2	459	103	70,989	105	0	-	0	-
	3	593	94	169,673	120	4	133	2,010	615
	4	486	102	81,253	97	2	50	2,900	5,800
	5	524	111	87,380	52	1	100	180	150
	6	546	101	1,232,583	1,798	0	-	0	-
	7	494	104	84,570	118	0	-	0	-
	8	492	106	111,428	122	1	100	1,880	18,800
2019年計		8,384	102	1,423,788	96	30	115	4,881	40
2020年計		7,773	93	1,220,046	86	27	90	3,852	79
2021年計		6,030	78	1,150,703	94	19	70	4,313	112
2019年	第1四半期	1,917	94	461,022	141	2	33	542	33
	第2四半期	2,074	98	301,338	72	6	55	1,651	99
	第3四半期	2,182	108	293,534	70	14	350	1,584	598
	第4四半期	2,211	107	367,894	115	8	160	1,104	13
2020年	第1四半期	2,164	113	301,966	65	1	50	300	55
	第2四半期	1,837	89	355,142	118	16	267	2,044	124
	第3四半期	2,021	93	243,977	83	4	29	876	55
	第4四半期	1,751	79	318,961	87	6	75	632	57
2021年	第1四半期	1,554	72	290,331	96	5	500	507	169
	第2四半期	1,490	81	321,328	90	10	63	3,466	170
	第3四半期	1,447	72	253,298	104	3	75	240	27
	第4四半期	1,539	88	285,746	90	1	17	100	16
2022年	第1四半期	1,504	97	307,602	106	5	100	2,023	399
	第2四半期	1,556	104	1,401,216	436	3	30	3,080	89

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2022年9月の為替相場は、1ドル143.14円、1ユーロ142.32円。



(単位:円)

年月	USドル	ユーロ
2017年1月	114.73	121.75
2月	113.06	118.98
3月	113.01	119.79
4月	110.06	120.85
5月	112.21	123.95
6月	110.91	127.97
7月	112.44	129.65
8月	109.91	131.34
9月	110.68	132.85
10月	112.96	131.76
11月	112.92	132.81
12月	112.97	134.94
2018年1月	110.77	135.08
2月	107.82	131.28
3月	106.00	130.52
4月	107.43	132.39
5月	109.69	126.73
6月	110.03	127.91
7月	111.37	129.93
8月	111.06	129.56
9月	111.89	132.14
10月	112.78	128.43
11月	113.37	129.19
12月	112.45	127.00
2019年1月	108.95	125.15
2月	110.36	126.09
3月	111.21	124.56
4月	111.66	124.38
5月	109.83	121.74
6月	108.06	122.49
7月	108.22	121.19
8月	106.27	117.63
9月	107.41	118.02
10月	108.12	121.46
11月	108.86	120.59
12月	109.18	122.54

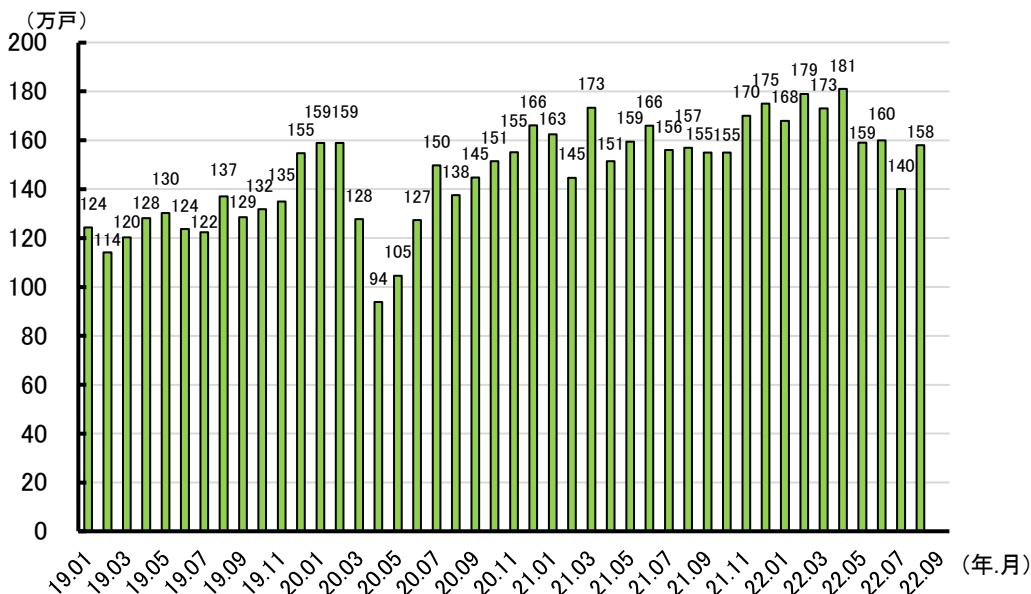
(単位:円)

年月	USドル	ユーロ
2020年1月	109.34	120.30
2月	109.96	120.32
3月	107.29	119.55
4月	107.93	116.00
5月	107.31	119.13
6月	107.56	121.08
7月	106.78	124.13
8月	106.04	125.47
9月	105.74	124.17
10月	105.24	122.14
11月	104.40	124.38
12月	103.82	126.95
2021年1月	103.70	126.48
2月	105.36	129.15
3月	108.65	129.80
4月	109.13	131.99
5月	109.19	133.74
6月	110.11	131.58
7月	110.29	130.11
8月	109.84	129.69
9月	110.17	129.86
10月	113.10	132.77
11月	114.13	128.41
12月	113.87	130.51
2022年1月	114.83	128.66
2月	115.20	129.34
3月	118.51	136.70
4月	126.04	135.83
5月	128.78	137.76
6月	133.86	142.67
7月	136.63	137.25
8月	135.24	139.03
9月	143.14	142.32

資料：USドルは日銀 主要時系列統計データ表 為替相場（東京市場 スポットレート 中心相場 月中平均）、ユーロは日銀「金融経済統計月報」対顧客為替相場。

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落した。その後、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から増加傾向が続き、2022年4月には181万戸(年率換算)を記録。2022年5月からは、住宅ローン金利が急騰したことにより、下落傾向が続いていたが、2022年8月は前月比113%の158万戸となり増加した。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2020年11月頃から急上昇し、その後は欧州発、米国発ともに高値を維持。

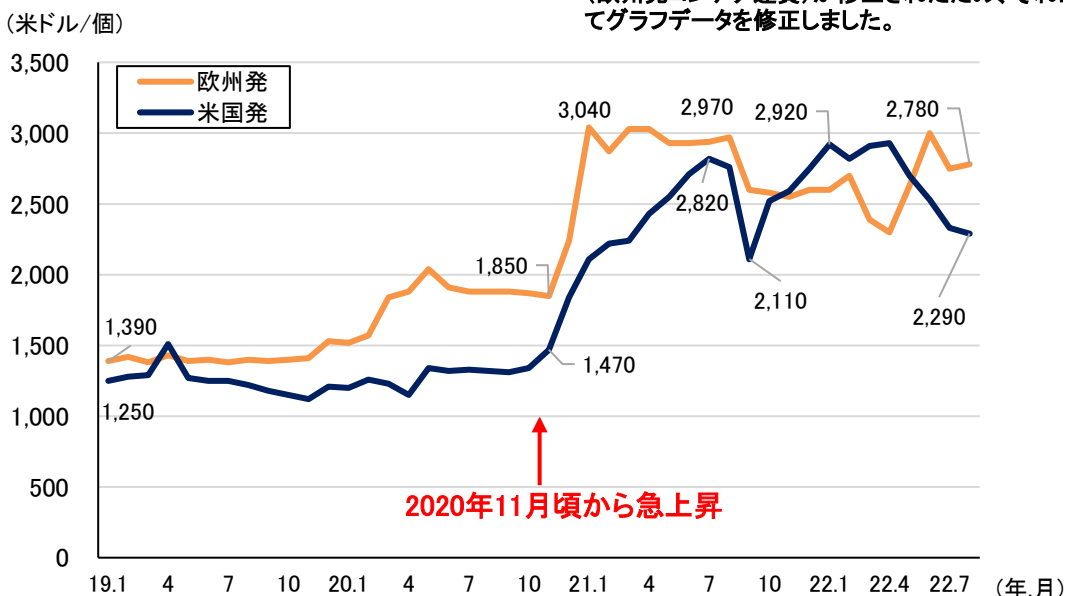
○米国における住宅着工戸数



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移

※2022年6月に出典元のDrewry社集計データの一部(欧州発コンテナ運賃)が修正されたため、それに併せてグラフデータを修正しました。

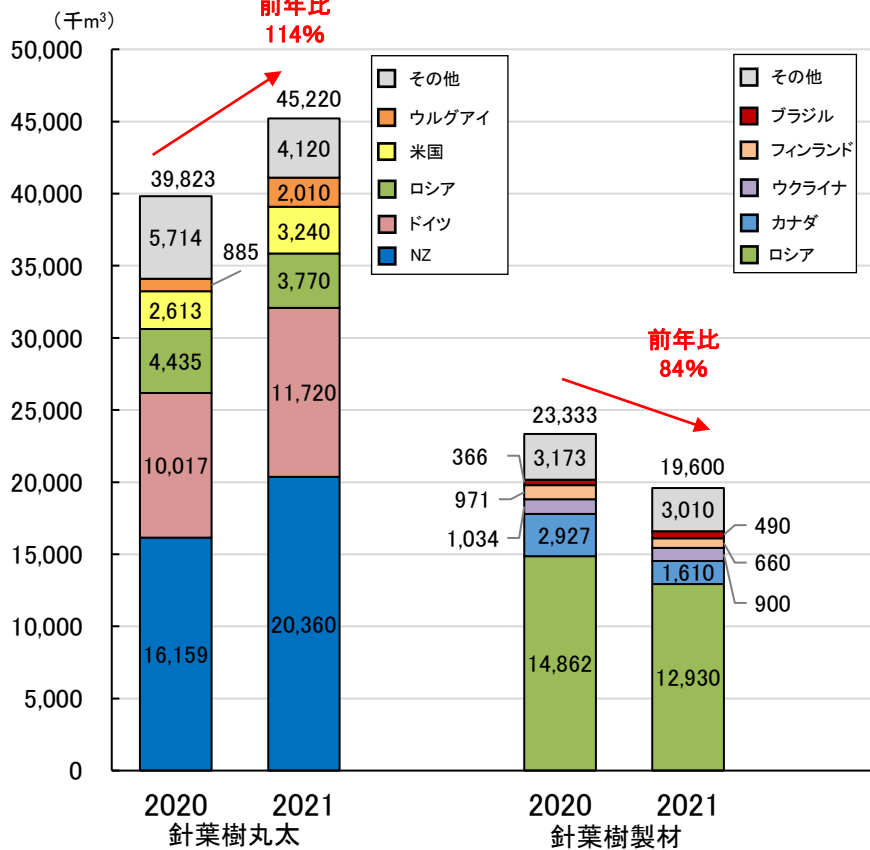


注：40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。
出典：Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

- 中国では、木材需要が継続して増加。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比114%の4,522万m³。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比84%の1,960万m³。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、一昨年春に建設活動が急激に低下したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。

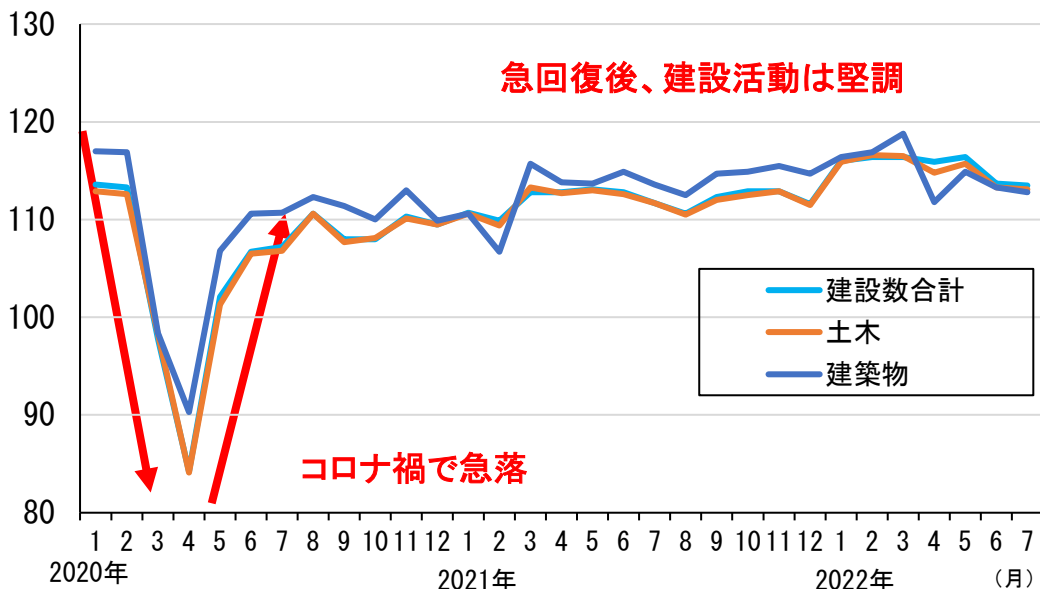
○中国の木材輸入量



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))

○EUにおける建設活動水準 (2015年比)

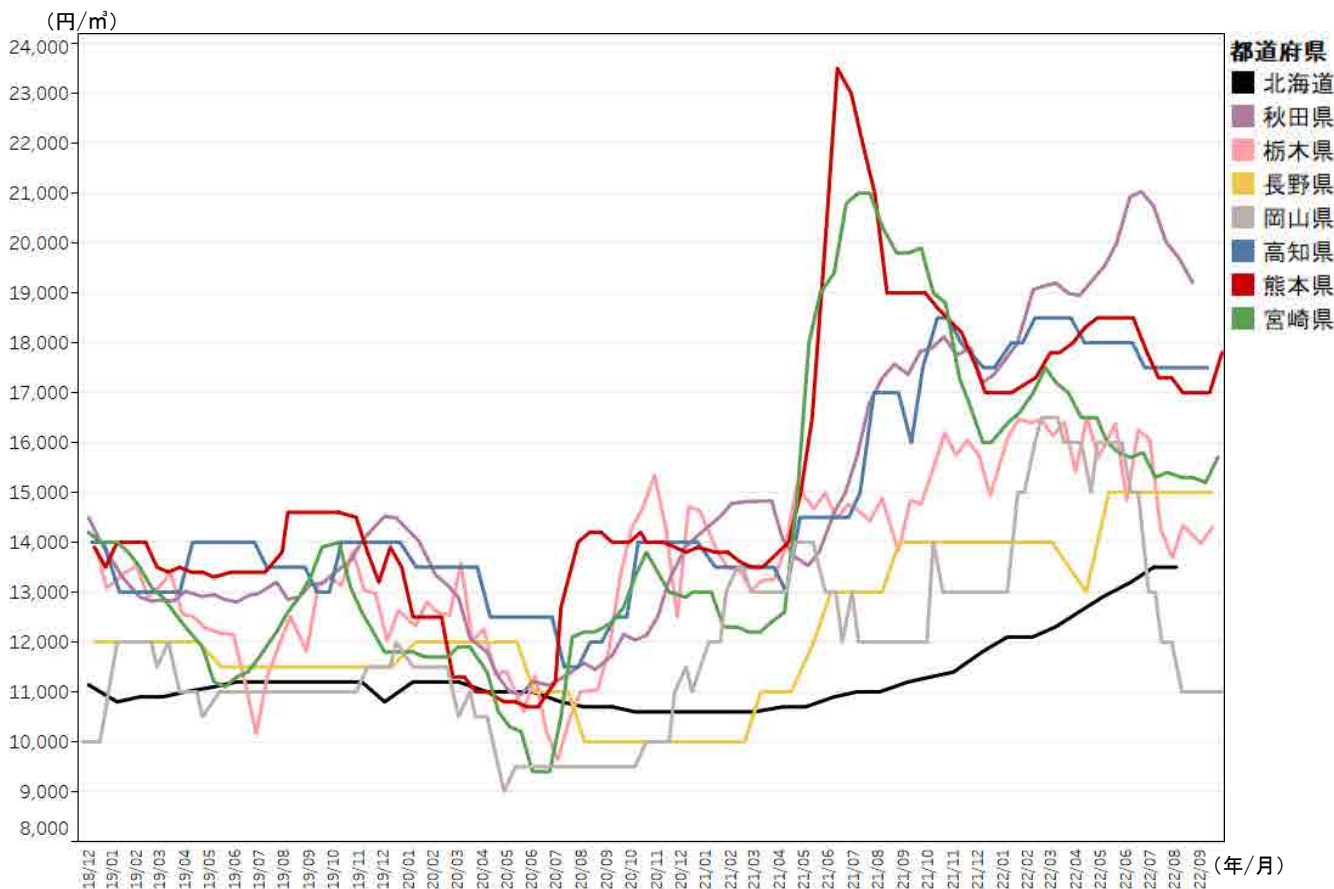
2015年=100



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

木材価格情報-1 スギ原木の主要市場価格

- 2021年4月以降、いわゆるウッドショックにより価格が大きく上昇し、その後一部の地域で下落したが、全般的には、2021年3月以前と比較すると高い水準で推移。
- 直近のスギ原木価格は、11,000円～19,210円/m³となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円)

都道府県	2022年直近*	前年同期	前年同期比
■ 北海道	13,500	11,000	123%
■ 秋田県	19,210	17,570	109%
■ 栃木県	14,290	14,770	97%
■ 長野県	15,000	14,000	107%
■ 岡山県	11,000	12,000	92%
■ 高知県	17,500	16,000	109%
■ 熊本県	17,800	19,000	94%
■ 宮崎県	15,700	19,900	79%

※北海道、秋田県については8月、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については9月の値を使用。

木材価格情報-1 ヒノキ原木の主要市場価格

- ヒノキにおいてもスギと同様に、2021年4月以降、価格が大きく上昇。その後下落傾向に転じているが、2021年3月以前と比較すると全般的に高い水準で推移。
- 直近のヒノキ原木価格は、14,000円～23,800円/m³となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：径24cm程度、長3.65～4.0m（2018年12月～）

注2：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(単位：円)

都道府県	2022年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	21,660	28,030	77%
静岡県	22,000	31,000	71%
兵庫県	15,000	31,000	48%
岡山県	14,000	35,500	39%
広島県	17,000	33,000	52%
愛媛県	20,000	32,300	62%
高知県	23,500	33,000	71%
熊本県	23,800	29,000	82%
大分県	21,000	27,000	78%

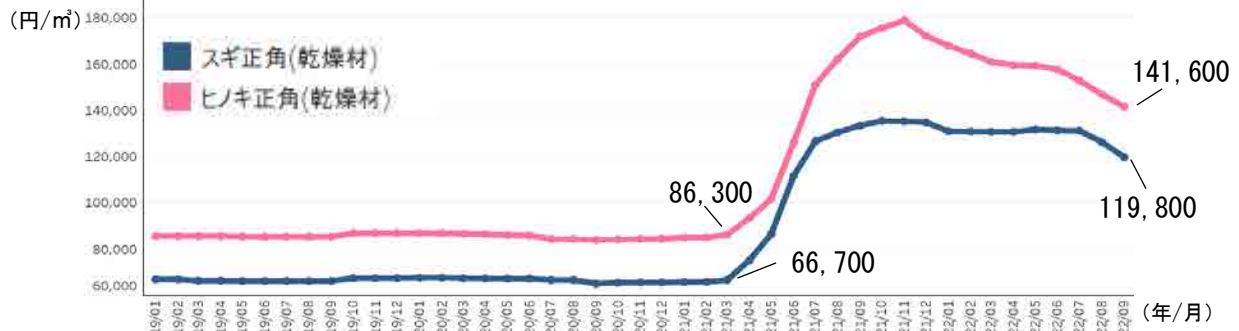
※各県9月の値を使用。

木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

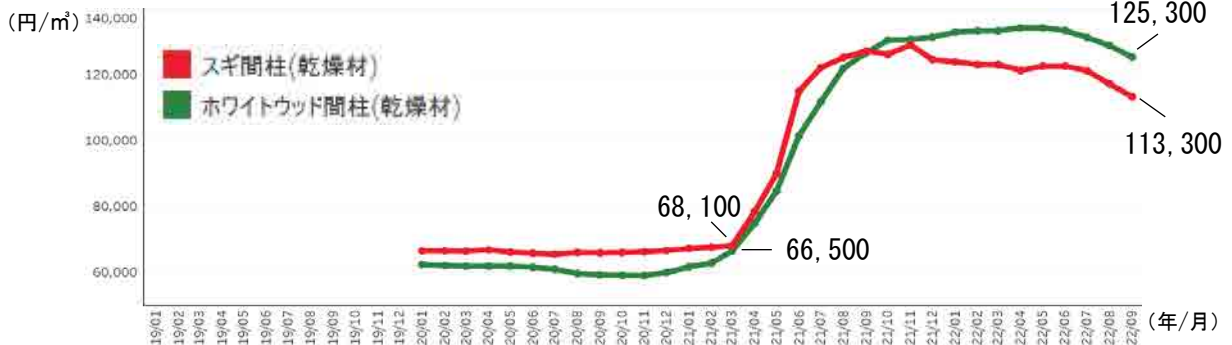
- 主な製材品及び針葉樹合板の全国平均価格は、いわゆるウッドショック以前（2021年3月以前）と比較すると、引き続き高い水準で推移。
- 2022年9月の正角（乾燥材）の価格は、スギは119,800円/m³（前年同期比90%）、ヒノキは141,600円/m³（同82%）。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは113,300円/m³（前年同期比89%）、ホワイトウッドは125,300円/m³（同99%）。
- 同月の針葉樹合板の価格は、2,350円/枚（前年同期比167%）。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

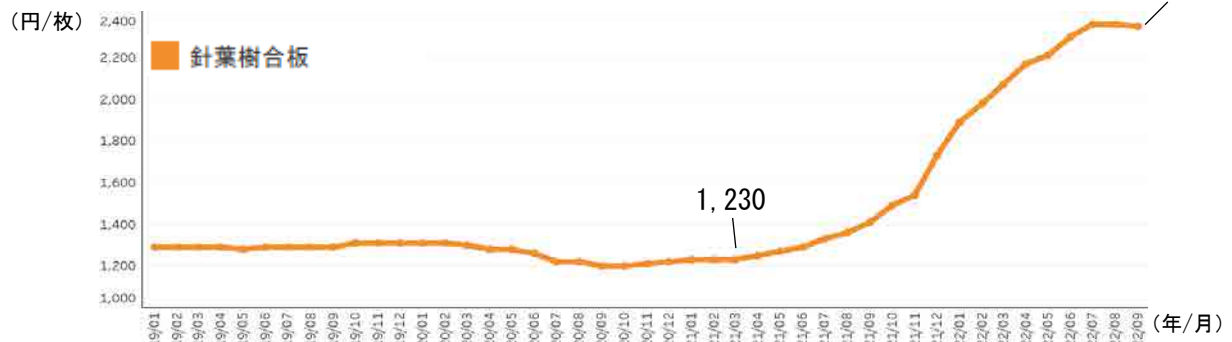
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

- 注：1 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。
- 2 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。
- 3 2022年は「木材価格」に拠る速報値、2021年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	11,900	12,000	11,900	11,900	11,900	12,500	12,700	12,800	13,100	13,200	13,300	13,300
岩手	17,600	17,600	17,600	17,700	18,300	18,800	20,100	20,100	20,800	20,900	21,000	21,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
北海道	13,700	13,600	13,800	14,000	14,500	15,800	15,500	15,700	15,500
岩手	21,200	23,900	25,300	25,500	31,500	32,000	32,200	30,500	30,500

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,900	10,600	11,300	11,700	12,400
宮城	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900	11,100	11,100	11,100	11,600	11,900	13,300	14,400
秋田	10,300	10,300	10,300	10,600	10,500	10,600	10,600	11,200	11,400	11,500	12,900	13,300
島根	11,900	12,700	12,800	12,800	12,900	13,000	13,200	13,800	14,300	14,800	14,900	14,900

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
岩手	12,600	13,300	14,100	14,100	14,100	15,100	14,500	13,800	13,800
宮城	15,300	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
秋田	14,100	16,700	17,200	17,900	17,800	17,800	18,100	17,800	17,100
島根	14,300	14,900	15,000	15,300	15,600	15,500	15,700	15,400	15,300

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	52,900	52,900	52,900	66,800	72,000	98,700	98,700	98,700	98,700	98,700	98,500	88,000
東京	x	x	x	x	66,000	66,000	66,000	61,200	61,200	61,200	61,200	61,200
大阪	55,000	55,000	58,100	61,900	65,000	80,500	92,900	105,800	105,800	105,800	105,800	105,800
福岡	38,900	38,900	38,900	41,800	44,000	53,600	56,900	57,200	57,200	59,300	58,600	58,600

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
千葉			88,000			88,000			77,300
東京			58,800			58,800			57,300
大阪			103,100			103,100			103,100
福岡			58,600			60,500			58,600

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は1月。

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	60,900	61,000	64,100	86,000	97,800	132,500	137,600	138,800	143,200	143,000	142,700	142,300
千葉	69,100	69,400	70,100	86,300	99,000	125,500	147,100	152,300	153,100	153,100	146,900	142,900
東京	71,400	71,400	71,400	71,500	85,900	115,400	142,600	142,900	148,300	148,300	148,300	148,300
神奈川	66,300	68,100	68,500	77,400	79,400	111,200	131,700	152,000	153,000	153,100	153,100	153,100
愛知	71,300	71,300	71,300	80,700	89,100	107,500	121,800	121,800	121,800	121,800	121,600	116,100
大阪	70,600	70,600	70,900	76,800	82,500	99,000	111,200	111,200	111,200	112,500	112,500	112,500
兵庫	70,200	70,200	71,500	79,300	91,500	113,300	128,000	142,700	142,700	142,700	142,700	142,700
福岡	62,000	62,000	62,000	67,400	77,800	93,100	103,900	112,900	113,600	120,400	120,400	120,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
埼玉	125,700	125,200	125,200	125,500	125,500	124,400	123,700	112,200	109,800
千葉	146,100	146,100	146,100	140,800	140,800	140,800	140,800	135,500	135,500
東京	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,900	148,800	148,800	132,800
神奈川	153,100	153,000	153,000	153,000	153,000	152,300	151,600	151,500	146,300
愛知	116,100	116,100	114,800	114,800	120,100	120,100	120,100	117,300	114,400
大阪	111,900	111,900	111,900	112,500	122,300	121,700	121,700	111,900	111,900
兵庫	142,900	142,900	142,900	142,900	146,000	143,700	143,700	134,300	131,200
福岡	120,400	120,400	120,400	120,400	120,400	120,300	120,300	117,600	113,800

資料：農林水産省「木材価格」

注1：2021年8月より、東京都の調査対象が変更になったことから、2021年7月及び8月の東京都のスギ正角の数値は接続しない。

注2：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注3：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注4：スギ正角の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	71,900	71,900	71,900	73,900	84,800	86,000	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200	98,200
東京	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
愛知	85,400	85,400	85,400	86,700	88,000	92,500	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100	96,100
大阪	62,400	62,400	71,300	67,900	72,000	83,200	108,700	118,200	145,700	129,000	129,000	125,800
兵庫	66,800	66,800	67,200	69,500	76,400	79,600	87,400	99,300	120,700	120,400	120,400	116,100
福岡	50,300	50,300	50,300	50,300	55,800	66,000	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500	82,500

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
千葉			98,200			98,100			92,000
東京			x			x			x
愛知			94,800			94,800			93,500
大阪			119,700			112,100			107,900
兵庫			116,300			114,300			106,300
福岡			82,500			86,600			84,200

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は1月。

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	78,200	78,200	79,000	91,400	100,900	138,900	147,000	148,000	164,300	168,700	167,900	160,200
千葉	94,000	94,900	95,800	105,500	114,200	131,500	149,300	161,300	161,300	165,900	163,800	164,900
東京	98,900	98,900	98,900	98,900	104,500	121,000	142,900	143,100	159,500	175,800	175,800	175,800
神奈川	78,700	79,000	84,100	94,800	110,500	146,200	178,800	184,700	186,300	187,400	187,400	187,400
愛知	94,700	94,700	94,700	97,500	102,900	113,500	128,100	129,400	142,400	142,900	165,700	161,900
大阪	80,100	80,100	82,800	90,600	98,000	128,900	169,100	192,900	193,800	193,800	193,800	181,100
兵庫	78,900	78,900	79,700	88,600	101,800	113,800	152,600	179,600	188,800	188,400	188,400	180,800

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
埼玉	145,600	142,500	142,500	142,500	142,500	141,800	139,800	128,600	122,800
千葉	171,400	169,100	169,100	164,800	164,800	164,800	164,800	158,100	158,100
東京	175,500	175,400	175,400	175,500	175,500	175,500	175,200	175,200	164,600
神奈川	187,400	185,300	185,300	185,300	185,300	181,900	178,600	173,300	167,300
愛知	159,400	159,400	151,900	149,700	149,700	149,700	137,000	131,600	130,700
大阪	176,400	169,900	163,600	162,600	161,700	159,800	154,400	152,600	147,000
兵庫	184,800	178,400	173,900	168,100	168,100	161,200	156,600	143,000	138,400

○米ツガ正角・防腐処理材（厚10.5cm、幅10.5cm、長4.0m、2級）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	78,900	78,900	79,900	85,600	98,600	104,600	116,100	129,300	139,300	139,300	141,300	141,300
千葉	78,200	78,500	78,500	85,600	91,900	100,300	119,100	129,800	139,400	139,400	139,400	138,500
神奈川	81,000	82,000	84,500	86,500	95,700	105,600	117,700	133,300	137,400	139,700	139,700	142,200
愛知	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	145,500	136,900
大阪	79,200	79,200	84,200	93,500	96,200	104,500	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000	121,000
兵庫	79,200	79,200	80,500	88,000	93,500	103,300	107,700	114,300	121,000	121,000	121,000	121,000

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
北海道			135,700			138,000			138,000
埼玉			144,700			148,800			151,900
千葉			139,800			142,400			142,400
東京			154,400			154,400			154,400
神奈川			142,200			143,100			143,100
愛知			158,300			158,300			145,500
大阪			121,000			132,000			132,000
兵庫			138,500			141,800			141,800

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は1月。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：ヒノキ正角、米ツガ正角・防腐処理材の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	60,200	60,900	62,800	78,900	94,600	130,900	133,100	133,100	138,900	136,000	131,200	122,300
千葉	65,300	65,800	66,600	77,100	93,600	136,600	140,900	141,800	142,100	137,500	124,700	119,300
東京	x	x	66,800	71,700	97,200	109,400	112,400	132,000	133,800	133,800	133,800	124,000
神奈川	67,100	67,600	69,800	81,300	88,500	116,900	135,100	140,500	141,600	141,900	141,200	136,800
愛知	68,300	68,300	68,300	79,300	85,400	99,800	112,300	119,200	119,800	119,800	119,300	119,300
大阪	62,700	63,100	63,800	74,800	82,500	89,100	110,000	118,800	121,000	121,000	121,000	112,200
兵庫	68,300	69,400	70,500	77,200	88,300	104,900	131,500	136,800	137,300	137,300	137,100	137,000
広島	85,500	85,800	85,800	95,000	95,000	96,200	97,400	97,400	101,000	101,000	167,200	167,200
福岡	65,700	65,700	65,700	71,700	80,500	101,300	104,800	105,500	105,500	108,900	108,900	107,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
埼玉	115,400	113,300	113,300	116,600	120,600	120,100	116,900	111,200	103,800
千葉	120,300	120,300	120,300	120,200	120,200	120,200	120,200	115,200	110,300
東京	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	129,300	122,200	122,200	120,900
神奈川	134,400	132,900	132,900	132,900	132,900	131,800	131,300	128,900	122,200
愛知	121,800	119,300	119,300	119,300	120,500	120,500	120,500	113,700	110,300
大阪	112,200	112,200	112,200	112,200	121,000	118,800	118,800	110,000	110,000
兵庫	137,000	137,000	137,000	137,200	142,400	142,400	137,200	131,900	126,600
広島	167,200	167,200	167,200	141,900	138,100	140,800	140,800	140,800	138,500
福岡	107,100	107,100	107,100	107,100	106,900	106,900	106,900	105,900	105,900

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	56,800	58,100	65,400	75,900	89,000	99,200	107,000	116,400	118,700	120,200	120,200	120,200
千葉	75,500	76,800	79,600	93,300	103,500	123,500	131,500	138,700	141,500	147,700	147,700	148,000
東京	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
神奈川	58,900	60,200	66,700	79,500	90,600	107,000	115,900	127,400	132,300	136,900	136,900	139,200
愛知	63,200	63,800	66,300	69,100	78,200	92,900	102,500	112,800	118,400	123,100	125,600	126,900
大阪	x	x	x	x	x	97,700	109,400	119,700	121,000	122,300	127,100	127,100
兵庫	56,700	57,800	59,900	73,500	84,500	99,200	114,300	133,200	133,200	140,600	128,800	128,800
広島	72,200	75,300	78,200	78,800	79,000	91,500	102,100	102,400	124,900	125,200	126,300	126,300

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
埼玉	111,300	111,300	111,300	121,000	122,400	122,400	119,000	114,700	111,500
千葉	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	148,000	145,600	143,800
東京	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	147,300	144,400
神奈川	139,200	137,800	137,800	137,800	138,500	139,000	136,700	136,000	133,000
愛知	126,900	128,100	128,100	127,900	127,900	127,200	126,900	126,500	122,200
大阪	132,000	132,000	132,000	132,000	132,000	126,900	121,600	115,500	110,600
兵庫	140,400	143,200	143,200	143,200	143,200	143,200	140,400	137,500	134,600
広島	126,300	126,300	126,300	125,600	121,500	125,600	125,400	124,300	122,400

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2021年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
宮崎	1,800	1,900	1,900	2,000	2,200	2,700	2,900	3,000	3,200	3,800	4,400	4,400

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
秋田	x	4,700	4,400	4,400	4,300	4,200	4,000	4,000	4,000
宮崎	4,200	4,300	4,300	4,300	4,300	4,400	4,400	4,400	4,200

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98～3.0m、1等）

・2021年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山	2,000	2,000	2,100	2,300	2,300	2,800	2,900	3,500	4,400	5,100	5,100	5,100

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
岡山	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	5,100	4,900	4,700	4,500

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2021年

単位：円/枚

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	1,180	1,180	1,190	1,190	1,260	1,320	1,360	1,390	1,510	1,520	1,590	1,760
東京	1,360	1,360	1,360	1,360	1,390	1,410	1,440	1,460	1,510	1,580	1,640	1,760
大阪	1,030	1,030	1,030	1,030	1,060	1,060	1,110	1,150	1,170	1,290	1,330	1,660

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
埼玉			2,220			2,420			2,390
東京			2,140			2,420			2,410
大阪			1,840			1,990			2,220

※2022年1月より四半期ごとの公表（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。次回公表は1月。

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

注3：針葉樹合板の価格は、2022年1月より四半期ごとの公表となった（4月に3月分、7月に6月分、10月に9月分、翌1月に12月分を公表）。

○チップ用丸太（針葉樹）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	6,900	7,000
青森	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
宮城	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
秋田	6,600	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	6,700	6,900	6,700	6,500	6,200	6,000	6,100	6,100	6,200	5,900	6,100	5,900
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,700	5,700	5,700	5,900	6,400	6,500
長野	6,000	6,000	6,000	6,000	6,100	6,200	6,400	6,400	6,400	6,400	6,500	6,800
京都	7,900	8,000	8,000	8,000	8,100	8,300	8,300	8,400	8,400	8,600	8,600	8,600
兵庫	6,300	6,300	6,800	6,800	6,300	6,400	6,500	6,500	6,500	6,600	6,600	6,600
島根	9,200	8,000	9,200	9,300	9,700	9,700	9,700	9,500	9,900	9,600	9,900	9,200
広島	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
高知	5,600	5,700	5,500	5,500	5,700	5,800	5,900	5,600	5,500	5,400	5,300	5,500
熊本	6,200	6,800	6,400	6,300	6,600	6,300	6,600	6,400	7,200	6,500	6,600	6,900
宮崎	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,000	7,900	7,800	7,700
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
北海道	7,000	7,000	7,000	7,100	7,100	7,300	7,200	7,300	7,300
青森	6,500	6,500	6,500	6,800	6,800	6,800	7,000	7,000	7,000
岩手	7,100	7,100	7,100	7,100	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
宮城	5,600	5,600	5,600	5,700	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
秋田	6,700	6,700	6,700	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
山形	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
福島	5,400	5,400	6,100	6,200	6,200	6,100	6,100	5,900	6,600
栃木	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
山梨	6,800	6,600	7,000	7,100	6,900	7,200	7,300	7,700	7,800
長野	6,800	6,700	6,700	6,700	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
京都	8,600	8,600	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
兵庫	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	6,600	7,200	7,200	7,200
島根	9,700	9,200	9,200	9,700	9,600	9,700	10,100	10,100	10,200
広島	5,000	5,000	5,000	5,600	6,000	6,300	6,400	6,500	6,400
高知	5,400	5,600	5,500	5,700	5,800	5,400	5,700	5,600	5,600
熊本	7,300	7,100	7,000	7,000	7,000	7,800	7,000	6,800	7,100
宮崎	7,400	7,400	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,900
鹿児島	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	7,700	8,200	8,200	8,200

○チップ用丸太（広葉樹）

・2021年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
青森	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
岩手	10,700	10,700	10,500	10,600	10,700	10,700	10,700	10,900	10,900	10,900	10,900	10,900
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700	8,700
秋田	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800	11,800
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,900	8,900	8,800	8,900	8,900	8,900	8,800	8,900	8,800	8,800	8,800	8,900
山梨	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	6,000	6,000	6,000	6,200	6,400	6,500
島根	10,600	10,400	10,500	10,500	10,700	10,600	10,500	10,400	10,400	10,300	10,200	10,400
広島	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900	5,900
熊本	8,000	8,400	8,300	8,300	8,600	8,800	8,700	8,600	8,700	8,300	8,500	8,300
宮崎	8,600	8,300	8,600	8,400	8,400	8,400	8,500	8,600	8,500	8,400	8,400	8,200
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

・2022年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
北海道	9,600	9,600	9,600	9,700	9,700	9,900	9,900	9,900	9,900
青森	11,600	11,600	11,600	11,900	11,900	11,900	12,100	12,100	12,100
岩手	11,000	11,000	11,000	11,100	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200
宮城	8,700	8,700	8,700	8,700	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
秋田	11,800	11,800	11,800	12,000	12,000	12,400	12,500	12,500	12,500
山形	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
福島	8,700	8,900	8,900	8,900	8,800	8,800	8,800	8,800	8,800
山梨	6,600	6,600	6,500	6,500	6,800	6,800	7,000	7,500	7,500
島根	10,500	10,300	10,400	10,600	10,600	10,500	10,700	10,800	10,800
広島	6,000	6,100	6,100	6,100	6,200	6,200	6,200	6,200	6,200
熊本	8,200	8,500	8,400	8,800	9,100	9,000	8,800	8,900	9,100
宮崎	8,200	8,200	8,200	8,100	8,500	8,500	8,300	8,300	8,300
鹿児島	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700

資料：農林水産省「木材価格」

注1：「x」は、個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの。

注2：年間を通じて価格を「x」として、統計数値を公表していない都道府県は省略している。

木材需給情報-1 木材需要の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総需要量は、82,132千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,744千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内消費量は、78,881千 m^3 （対前年比110.4%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、パルプ・チップ用材の+2,629千 m^3 （同110.6%）、燃料材の+1,940千 m^3 （同115.2%）である。
- 輸出量は、3,251千 m^3 （対前年比108.0%）となった。この中で、前年に比べて増加したものは、丸太（用材）の+75千 m^3 （同105.4%）、製材品等の+60千 m^3 （同121.8%）、合板等の+58千 m^3 （同132.4%）、木材パルプ・チップ等の+50千 m^3 （同104.3%）である。

木材需要の動向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 比 (%)
			数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)		
総 需 要 量	用 材	製材用材	26,179	31.9	24,597	33.0	1,582	106.4
		合板用材	10,294	12.5	8,919	12.0	1,375	115.4
		パルプ・チップ用材	28,743	35.0	26,064	35.0	2,679	110.3
		その他用材	1,926	2.3	1,812	2.4	114	106.3
		小計	67,142	81.7	61,392	82.5	5,750	109.4
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7	
	燃料材	14,744	18.0	12,805	17.2	1,939	115.1	
計			82,132	100.0	74,439	100.0	7,693	110.3
国 内 消 費	用 材	製材用材	25,844	32.8	24,321	34.0	1,523	106.3
		合板用材	10,056	12.7	8,741	12.2	1,315	115.0
		パルプ・チップ用材	27,529	34.9	24,900	34.9	2,629	110.6
		その他用材	466	0.6	426	0.6	40	109.4
		小計	63,895	81.0	58,387	81.7	5,508	109.4
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7	
	燃料材	14,740	18.7	12,800	17.9	1,940	115.2	
計			78,881	100.0	71,430	100.0	7,451	110.4
輸 出	用 材	丸太	1,459	44.9	1,384	46.0	75	105.4
		製材品等	335	10.3	275	9.2	60	121.8
		合板等	237	7.3	179	5.9	58	132.4
		木材パルプ・チップ等	1,214	37.3	1,164	38.7	50	104.3
		その他	2	0.1	3	0.1	△1	66.7
	小計	3,247	99.9	3,005	99.8	242	108.1	
	燃料材	4	0.1	5	0.2	△1	80.0	
計			3,251	100.0	3,009	100.0	242	108.0

資料：林野庁「木材需給表」

注：1）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

2）輸出の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。

3）輸出の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

4）輸出の木材パルプ・チップ等は、木材パルプ、木材チップ、再生木材である。

5）輸出の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

6）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-1 木材供給の動向（2021年木材需給表）

- 木材の総供給量は、82,132千 m^3 （対前年比110.3%）となった。内訳は、用材が67,142千 m^3 （同109.4%）、しいたけ原木が246千 m^3 （同101.7%）、燃料材が14,744千 m^3 （同115.1%）である。
- 国内生産量は、33,723千 m^3 （対前年比108.3%）となった。この中で、前年に比べて増加量が大きかったものは、丸太（用材）の+2,092千 m^3 （同109.6%）である。
- 輸入量は、48,409千 m^3 （対前年比111.8%）となった。この中で、前年に比べ増加量が大きかったものは、木材チップ等の+2,538千 m^3 （同115.2%）、燃料材の+1,516千 m^3 （同139.1%）である。一方で、製材品等は Δ 218千 m^3 （同97.8%）、木材パルプは Δ 199千 m^3 （同96.0%）と減少した。

木材供給の動向

区 分			2021年		2020年		対前年 増減量 (千 m^3)	対前年 比 (%)	
			数量 (千 m^3)	構成比 (%)	数量 (千 m^3)	構成比 (%)			
総供給量	用材	丸太	27,845	33.9	25,180	33.8	2,665	110.6	
		林地残材	161	0.2	106	0.1	55	151.9	
		輸入木材製品	39,136	47.6	36,106	48.5	3,030	108.4	
		小計	67,142	81.7	61,392	82.5	5,750	109.4	
	しいたけ原木	246	0.3	242	0.3	4	101.7		
	燃料材	14,744	18.0	12,805	17.2	1,939	115.1		
	計	82,132	100.0	74,439	100.0	7,693	110.3		
国内生産	用材	丸太	23,966	71.1	21,874	70.2	2,092	109.6	
		林地残材	161	0.5	106	0.3	55	151.9	
		小計	24,127	71.5	21,980	70.6	2,147	109.8	
	しいたけ原木	246	0.7	242	0.8	4	101.7		
	燃料材	9,350	27.7	8,927	28.7	423	104.7		
計	33,723	100.0	31,149	100.0	2,574	108.3			
輸入	用材	丸太	3,879	8.0	3,306	7.6	573	117.3	
		製材品等	製材品等	9,903	20.5	10,121	23.4	Δ 218	97.8
			合板等	5,201	10.7	4,293	9.9	908	121.2
			木材パルプ	4,798	9.9	4,997	11.5	Δ 199	96.0
			木材チップ等	19,184	39.6	16,646	38.5	2,538	115.2
			その他	49	0.1	49	0.1	0	100.0
	小計	39,136	80.8	36,106	83.4	3,030	108.4		
	燃料材	5,394	11.1	3,878	9.0	1,516	139.1		
計	48,409	100.0	43,290	100.0	5,119	111.8			

資料：林野庁「木材需給表」

注：1）林地残材とは、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に搬入されたものである。

2）燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

3）輸入の製材品等は、製材、集成材、構造用集成材、セルラーウツパネル、加工材等である。

4）輸入の合板等は、合板、薄板・単板、ブロックボード等である。

5）輸入の木材チップ等は、木材チップ、再生木材である。

6）輸入の用材のその他は、改良木材、枕木、のこくず・木くずである。

7）数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

木材需給情報-1 木材自給率の動向（2021年木材需給表）

- 建築用材等の自給率は、製材用材の国内生産が大きく増加したこと等により、対前年比で0.8ポイント上昇し、48.0%となった。
- 非建築用材等の自給率は、パルプ・チップ用材及び燃料材の輸入が大きく増加したこと等により、対前年比で2.0ポイント低下し、35.5%となった。
- これらを合わせた総数での自給率は、対前年比で0.7ポイント低下し、41.1%となった。

【参考】木材自給率（%）＝ 国内生産量 ÷ 総需要量（※） × 100
 ※「総需要量」は「国内消費量」に「輸出量」を加えたもの。

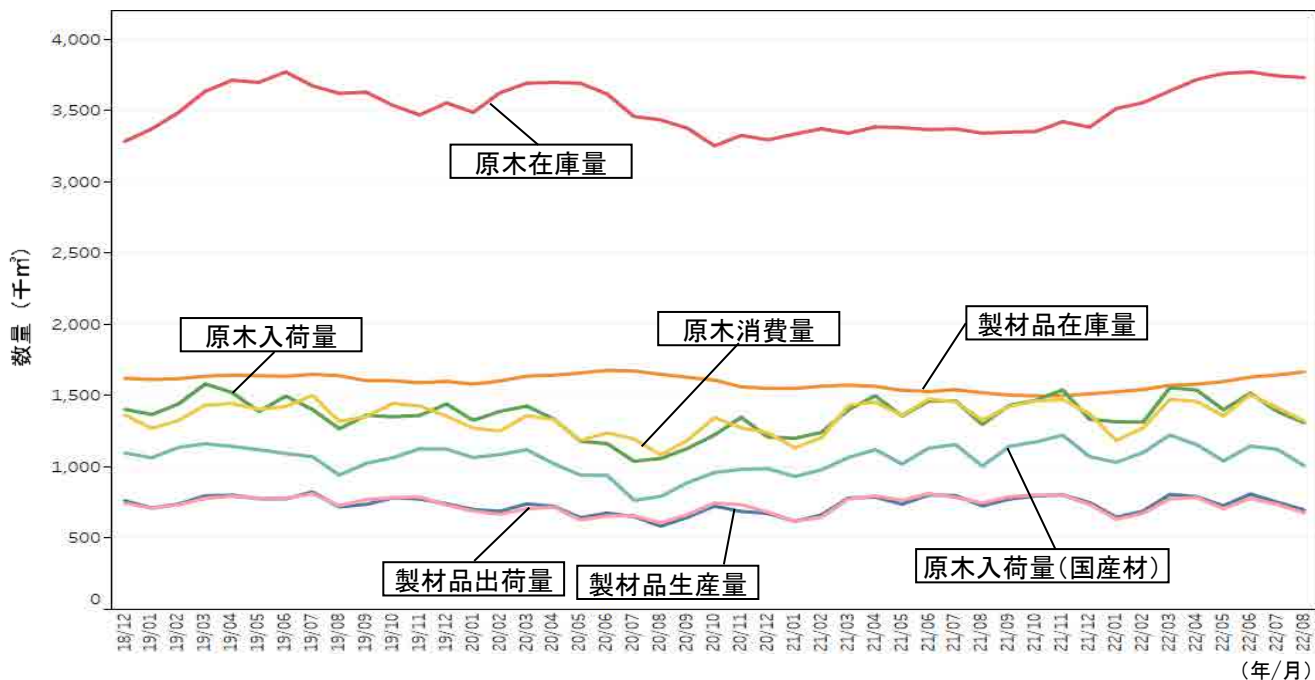
木材自給率の動向

区 分		2021年	2020年	対前年 増減量 (千m ³)	対前年比 (%)	
		数量 (千m ³)	数量 (千m ³)			
建築用材等	国内生産	17,522	15,810	1,712	110.8	
	輸 入	18,951	17,706	1,245	107.0	
	総 需 要 量	36,473	33,516	2,957	108.8	
	自 給 率	48.0%	47.2%	0.8ポ ^ン ト		
用材	製材用材	国内生産	12,861	11,615	1,246	110.7
		輸 入	13,318	12,982	336	102.6
	総 需 要 量	26,179	24,597	1,582	106.4	
	自 給 率	49.1%	47.2%	1.9ポ ^ン ト		
合板用材	国内生産	4,661	4,195	466	111.1	
	輸 入	5,633	4,724	909	119.2	
総 需 要 量	10,294	8,919	1,375	115.4		
自 給 率	45.3%	47.0%	△ 1.7ポ ^ン ト			
非建築用材等	国内生産	16,201	15,339	862	105.6	
	輸 入	29,458	25,584	3,874	115.1	
	総 需 要 量	45,659	40,923	4,736	111.6	
	自 給 率	35.5%	37.5%	△ 2.0ポ ^ン ト		
用材	パルプ・チップ用材	国内生産	4,744	4,420	324	107.3
		輸 入	24,000	21,644	2,356	110.9
	総 需 要 量	28,743	26,064	2,679	110.3	
	自 給 率	16.5%	17.0%	△ 0.5ポ ^ン ト		
その他用材	国内生産	1,862	1,750	112	106.4	
	輸 入	65	62	3	104.8	
総 需 要 量	1,926	1,812	114	106.3		
自 給 率	96.6%	96.6%	0.0ポ ^ン ト			
しいたけ原木	国内生産	246	242	4	101.7	
	輸 入	-	-	-	-	
	総 需 要 量	246	242	4	101.7	
自 給 率	100.0%	100.0%	0.0ポ ^ン ト			
燃料材	国内生産	9,350	8,927	423	104.7	
	輸 入	5,394	3,878	1,516	139.1	
	総 需 要 量	14,744	12,805	1,939	115.1	
	自 給 率	63.4%	69.7%	△ 6.3ポ ^ン ト		
総 数	国内生産	33,723	31,149	2,574	108.3	
	輸 入	48,409	43,290	5,119	111.8	
	総 需 要 量	82,132	74,439	7,693	110.3	
	自 給 率	41.1%	41.8%	△ 0.7ポ ^ン ト		
うち 用材の計	国内生産	24,127	21,980	2,147	109.8	
	輸 入	43,015	39,412	3,603	109.1	
	総 需 要 量	67,142	61,392	5,750	109.4	
	自 給 率	35.9%	35.8%	0.1ポ ^ン ト		

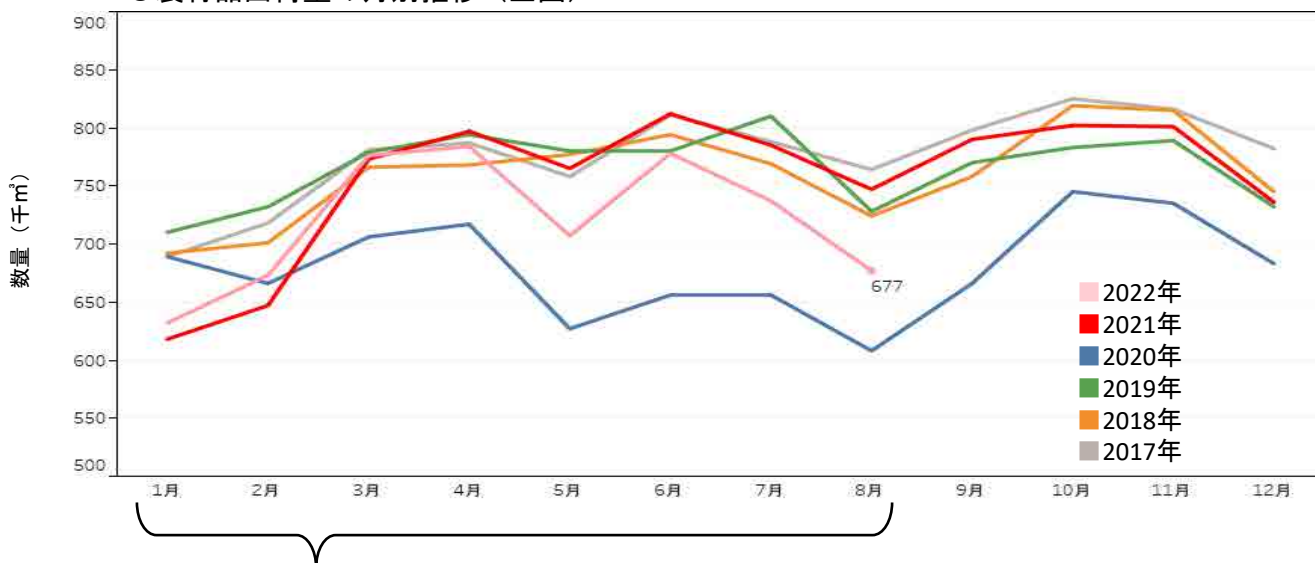
資料：林野庁「木材需給表」

注) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。

- 2022年1～8月の原木の入荷量は11,338千 m^3 （2019年比99%）。
- 同様に製材品の出荷量は5,764千 m^3 （2019年比94%）。



○製材品出荷量の月別推移（全国）

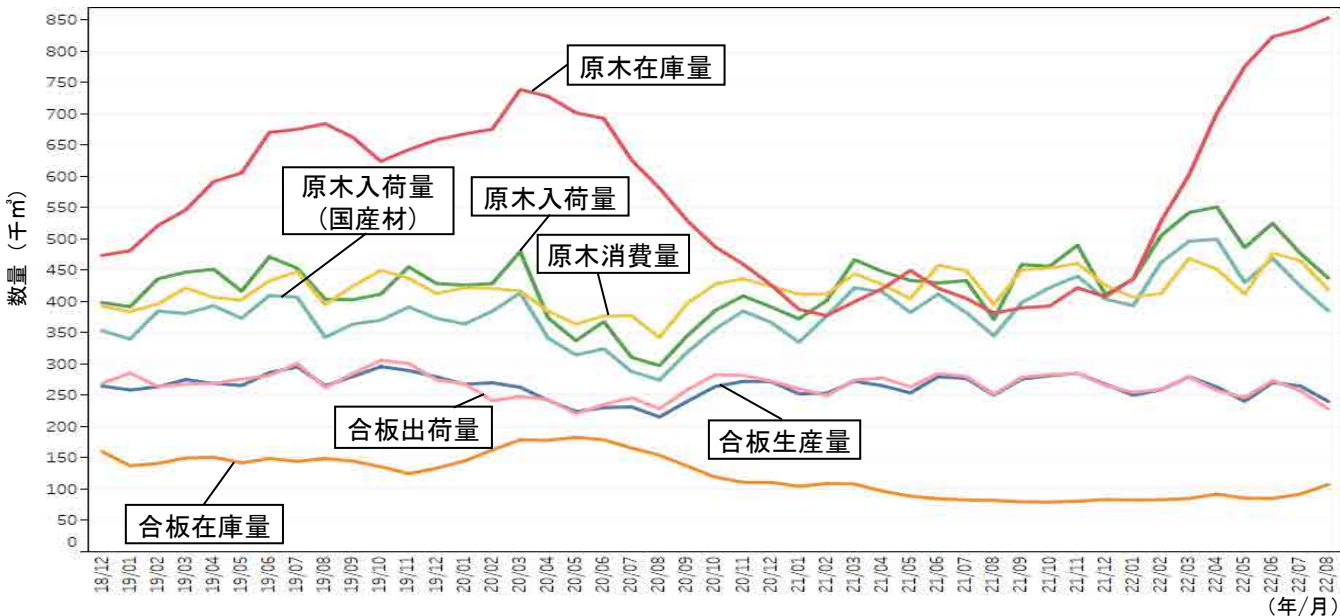


	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～8月原木入荷量合計(千 m^3)	10,930	11,030	11,462	9,916	10,914	11,338
2019年との比較*	95%	96%	—	87%	95%	99%
1～8月出荷量合計(千 m^3)	6,096	5,991	6,113	5,325	5,944	5,764
2019年との比較*	100%	98%	—	87%	97%	94%

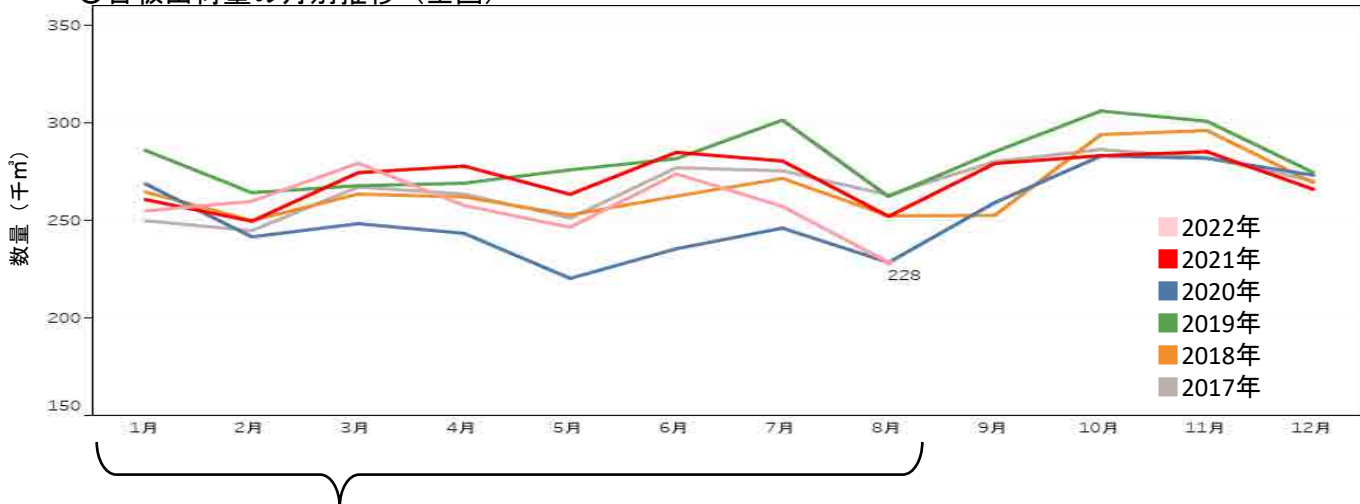
※2019年の数値を100%とした比較

資料：農林水産省「製材統計」

- 2022年1～8月の原木の入荷量は3,959千m³（2019年比114%）。現在の原木在庫量は高い水準になっている。
- 同様に合板の出荷量は2,057千m³（2019年比93%）。合板在庫量は2020年5月から減少傾向に転じ、現在は低い水準で推移。



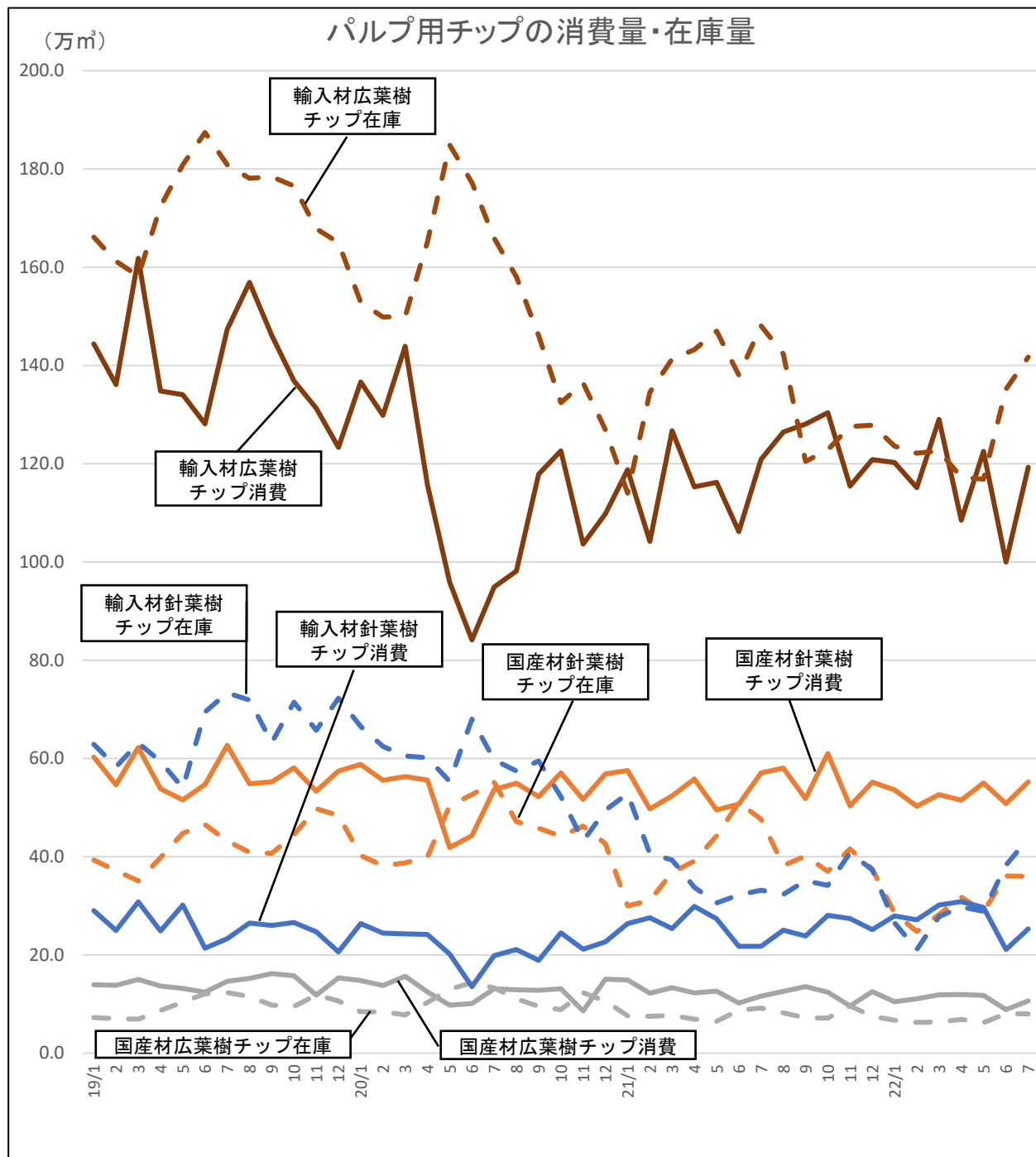
○合板出荷量の月別推移（全国）



	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
1～8月原木入荷量 合計(千m ³)	3,035	3,313	3,471	3,022	3,356	3,959
2019年との比較*	87%	95%	—	87%	97%	114%
1～8月出荷量 合計(千m ³)	2,091	2,078	2,207	1,931	2,142	2,057
2019年との比較*	95%	94%	—	87%	97%	93%

※2019年の数値を100%とした比較

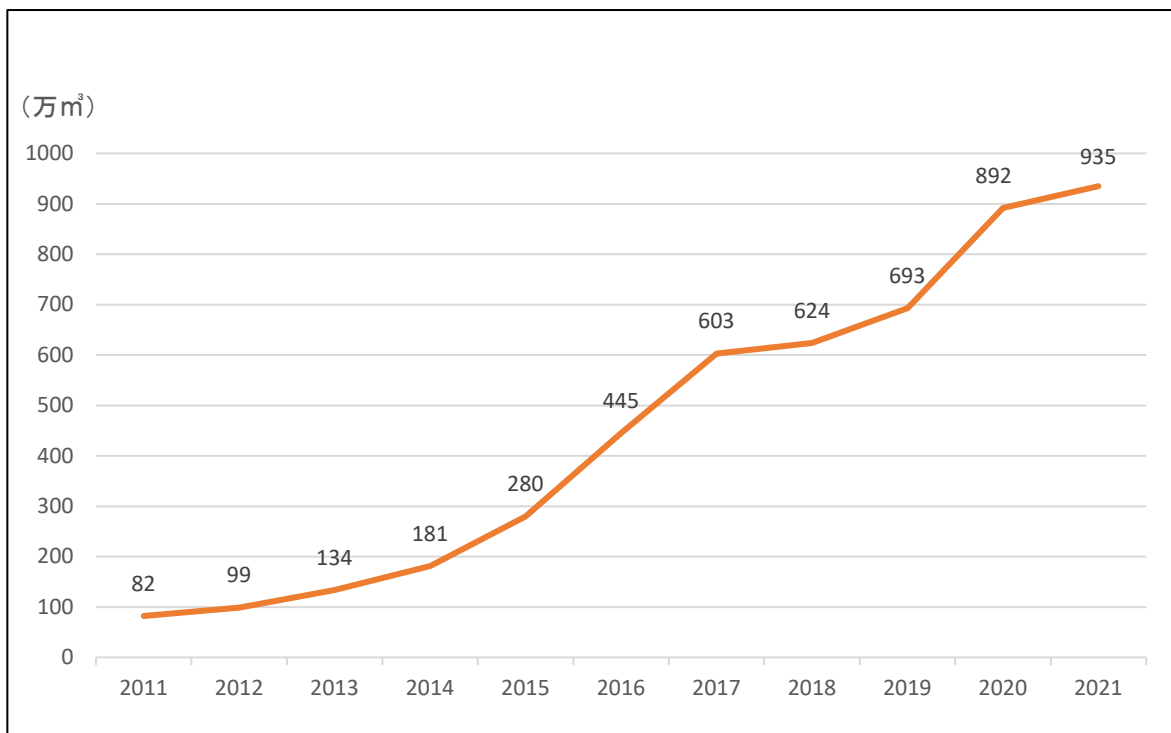
- パルプ用チップの消費について、輸入広葉樹チップの消費量は2020年4月から6月まで激減した。その後は回復傾向。国産針葉樹チップの消費量は、2020年5月に大きく減少したが、その後回復した。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約11倍)。
- 紙の生産高は2020年6月に減少したが、その後一定程度回復している。

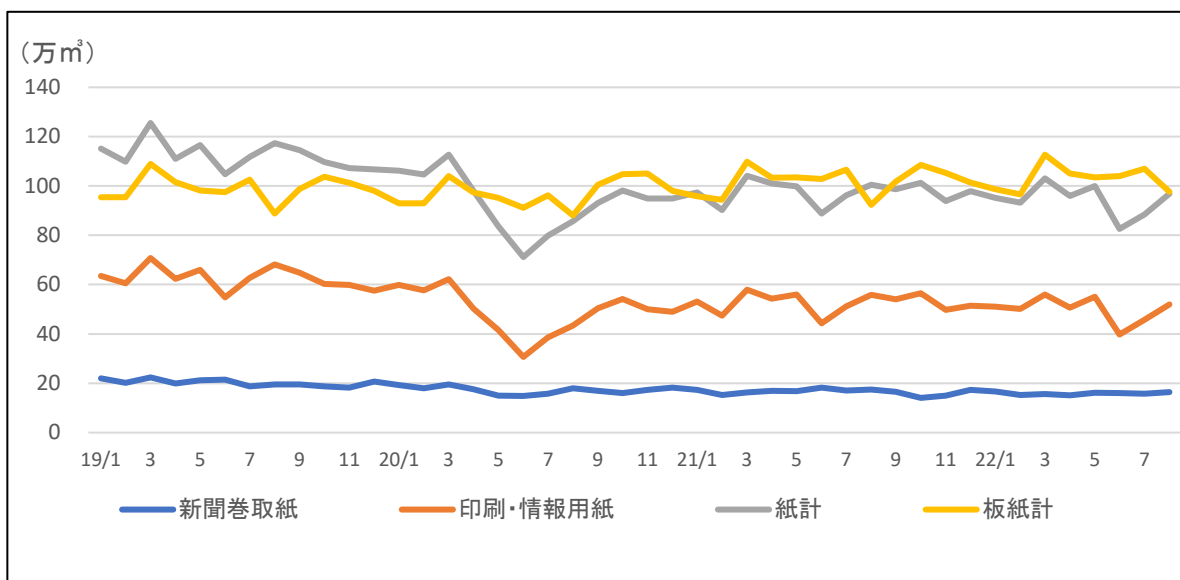
○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

木材需給情報-6 素材生産量（2021年）

- 2021年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量は2,185万m³。

単位：千m³

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	21,847	12,861	4,661	4,325	20,088	12,917	1,759
北 海 道	3,163	1,630	652	881	2,615	63	548
青 森	971	360	397	214	924	812	47
岩 手	1,431	525	547	359	1,228	770	203
宮 城	627	218	292	117	588	538	39
秋 田	1,183	486	554	143	1,109	1,095	74
山 形	305	223	75	7	302	291	3
福 島	890	444	64	382	756	568	134
茨 城	401	320	4	77	374	254	27
栃 木	658	463	5	190	571	396	87
群 馬	252	162	31	59	240	179	12
埼 玉	67	31	x	x	43	25	24
千 葉	50	16	4	30	35	28	15
東 京	64	17	8	39	58	37	6
神 奈 川	10	8	x	x	9	6	1
新 潟	119	81	23	15	112	111	7
富 山	112	57	21	34	96	90	16
石 川	108	52	37	19	98	85	10
福 井	122	57	30	35	120	114	2
山 梨	125	27	x	x	104	27	21
長 野	460	188	207	65	453	106	7
岐 阜	385	256	80	49	381	211	4
静 岡	608	199	99	310	608	248	0
愛 知	139	96	28	15	127	76	12
三 重	277	189	81	7	276	122	1
滋 賀	72	15	14	43	57	40	15
京 都	159	51	41	67	140	98	19
大 阪	x	7	-	x	10	6	x
兵 庫	301	98	143	60	287	189	14
奈 良	125	107	x	x	125	67	0
和 歌 山	206	138	24	44	201	129	5
鳥 取	232	83	101	48	211	163	21
鳥 根	346	120	124	102	289	204	57
岡 山	427	348	23	56	389	100	38
広 島	347	152	81	114	267	136	80
山 口	221	123	46	52	198	135	23
徳 島	333	175	x	x	321	263	12
香 川	13	5	-	8	8	1	5
愛 媛	563	528	3	32	563	342	-
高 知	519	x	x	94	516	254	3
福 岡	402	343	7	52	395	353	7
佐 賀	130	109	1	20	119	66	11
長 崎	139	77	12	50	120	59	19
熊 本	938	752	123	63	907	686	31
大 分	1,129	892	210	27	1,116	929	13
宮 崎	2,042	1,830	164	48	2,026	1,931	16
鹿 児 島	664	417	132	115	596	514	68
沖 縄	x	x	-	x	0	-	x

資料：農林水産省「令和3年木材統計」

「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの

木材需給情報-7 木材生産の産出額（2020年）

- 2020年の木材生産の都道府県別木材生産の産出額の合計は1,944億円。

単位：千万円

都道府県	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
		スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	2,793	2,318	30	-	-	2,260	475	-
青森	744	679	540	0	43	60	65	-
岩手	1,307	1,035	551	0	155	329	259	-
宮城	438	406	375	4	21	4	30	2
秋田	1,002	905	871	-	2	28	95	-
山形	245	240	228	0	2	9	5	0
福島	688	606	478	71	26	28	80	-
茨城	392	368	252	114	1	0	24	-
栃木	587	551	363	185	1	1	30	2
群馬	172	168	115	19	1	31	4	-
埼玉	45	28	18	10	0	0	17	-
千葉	41	26	21	4	-	-	12	3
東京	19	16	7	9	-	0	2	-
神奈川	11	10	5	5	-	0	1	-
新潟	103	96	96	0	0	0	6	0
富山	71	67	64	1	1	1	4	-
石川	132	115	93	6	8	1	16	0
福井	102	97	94	1	1	0	5	0
山梨	104	86	21	9	15	34	13	-
長野	463	436	59	95	32	240	17	-
岐阜	456	444	250	179	3	11	11	-
静岡	307	304	135	165	1	2	2	-
愛知	208	207	99	90	0	15	2	-
三重	320	316	131	182	0	-	4	-
滋賀	44	36	26	10	0	0	7	1
京都	116	94	66	23	0	-	17	5
大阪	5	5	3	2	0	-	0	-
兵庫	204	193	124	65	1	0	11	0
奈良	147	147	72	74	0	-	0	0
和歌山	140	134	73	61	0	-	4	2
鳥取	226	211	167	39	4	0	16	-
島根	397	321	255	52	14	0	76	-
岡山	446	435	68	363	3	-	8	3
広島	274	232	115	106	11	0	41	-
山口	230	209	140	67	2	-	20	1
徳島	281	275	214	60	1	-	6	0
香川	8	7	2	5	0	-	-	1
愛媛	550	549	260	287	2	-	-	0
高知	500	496	243	250	3	-	3	1
福岡	187	177	128	48	1	-	9	1
佐賀	125	115	67	48	0	-	9	0
長崎	100	81	30	52	-	-	18	-
熊本	1,142	1,108	739	366	3	-	26	8
大分	1,038	1,020	833	186	0	-	7	5
宮崎	1,977	1,950	1,814	131	4	-	26	-
鹿児島	548	475	405	62	1	-	58	15
沖縄	2	0	-	-	-	-	2	-
合計	19,437	17,796	10,739	3,506	364	3,055	1,541	49

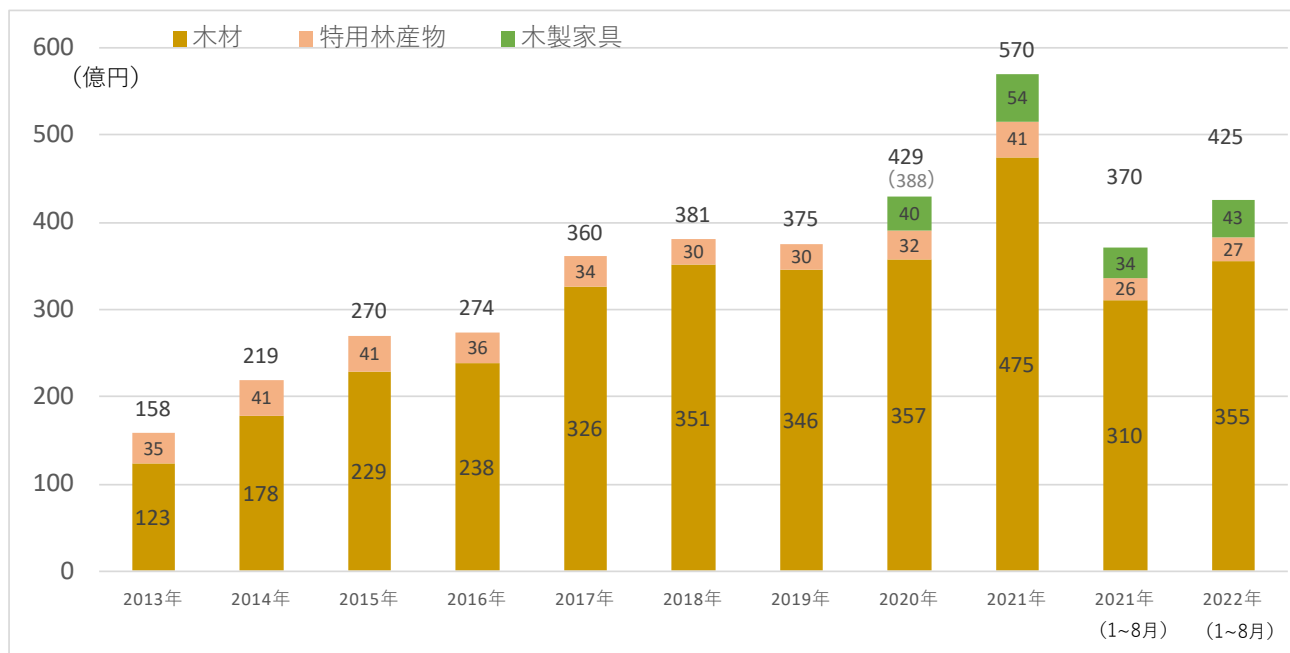
資料：農林水産省「令和2年林業産出額」

注：都道府県別産出額には、全国値には含まれる木材生産におけるパルプ工場に直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額を含まない。

また、全国値には含まない木材生産における県外移出されたしいたけ原木の産出額を含む。

- 2022年8月の林産物の輸出額は56億円（前年同月比149%）となった。
- 内訳としては木材が46億円（同153%）、特用林産物が3億円（同105%）、木製家具が6億円（同143%）となった。
- 1～8月の累計は、425億円（前年同期比115%）となった。

○林産物輸出の推移



資料:財務省「貿易統計」

※特用林産物には、きのこ(はらたけ属以外)、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。

※2020年の(388)は品目の見直しによる追加品目(木製家具、調整・保存処理したきのこ等)を含まない数字。

※四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

(単位:億円)

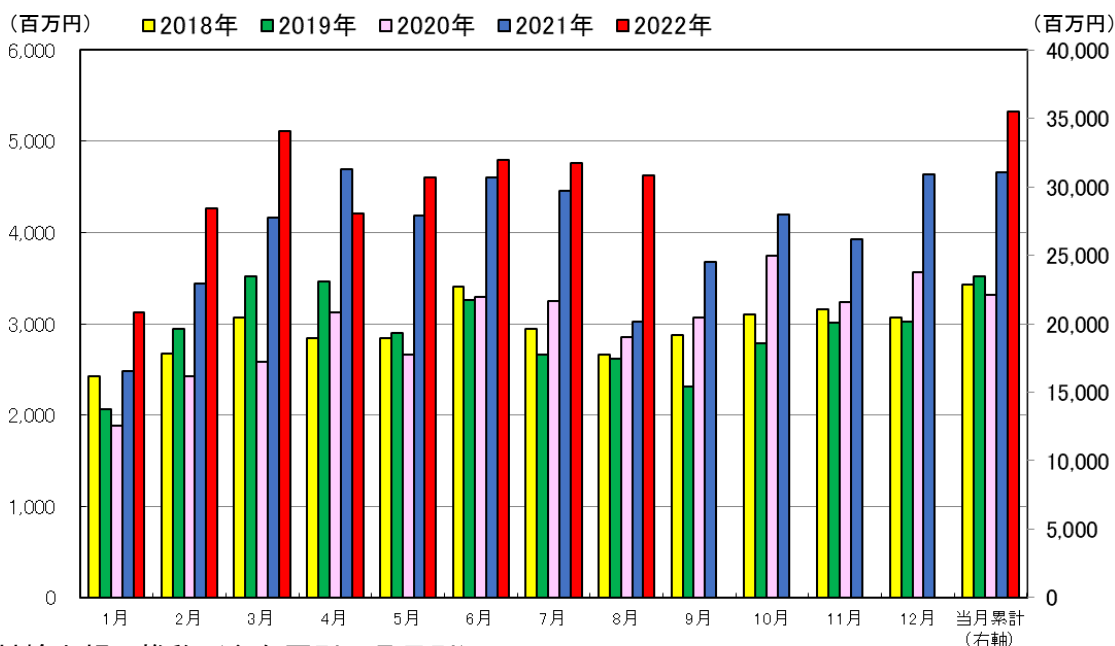
	2021年				2022年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	31	25	3	3	37	119%	157%	31	3	4
2月	41	34	4	3	50	121%	164%	43	3	4
3月	51	42	4	5	61	121%	192%	51	4	6
4月	55	47	3	5	51	92%	138%	42	3	5
5月	49	42	3	4	55	113%	176%	46	3	5
6月	54	46	3	5	58	107%	154%	48	4	6
7月	52	45	3	4	58	111%	156%	48	4	7
8月	37	30	3	5	56	149%	165%	46	3	6
9月	45	37	3	5						
10月	52	42	4	5						
11月	48	39	4	5						
12月	55	46	4	5						
8月累計	370	310	26	34	425	115%	162%	355	27	43

資料:財務省貿易統計

林産物輸出入情報- 2 木材輸出額

- 2022年8月の輸出額は46.3億円(前年同月比153%)となった。特に丸太輸出額については、昨年同時期に中国において新型コロナウイルスの影響により中国港湾での滞船等の影響で輸出額が減少していたことから、前年同期と比較して増加している。
- 2022年(1~8月)の累計は355億円(前年同期比114%)となっており、米国向け製材が減少し、フィリピン向けの輸出額が増加している。

○木材輸出額の推移(月別)



○木材輸出額の推移(主な国別・品目別)

輸出先	単月 8月					累計1~8月				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	2,036	167%	1,612 196%	115 107%	18 33%	14,728	98%	11,326 96%	1,099 108%	251 65%
韓国	371	142%	209 154%	50 102%	9 409%	2,683	107%	1,551 106%	416 93%	35 129%
台湾	144	74%	88 74%	25 50%	0 -	1,925	119%	1,069 110%	458 115%	2 11%
米国	503	154%	0 -	239 117%	0 -	4,070	115%	0 -	2,236 88%	11 156%
フィリピン	1,301	174%	0 -	167 70%	1,030 234%	9,623	159%	0 -	2,337 166%	6,468 150%
その他	275	101%	30 65%	47 174%	6 113%	2,462	107%	211 58%	396 154%	30 53%
総計	4,631	153%	1,938 172%	643 95%	1,063 211%	35,492	114%	14,157 97%	6,942 114%	6,796 142%

資料：財務省貿易統計(第44類を集計)
※四捨五入により、数値が合わないことがある。

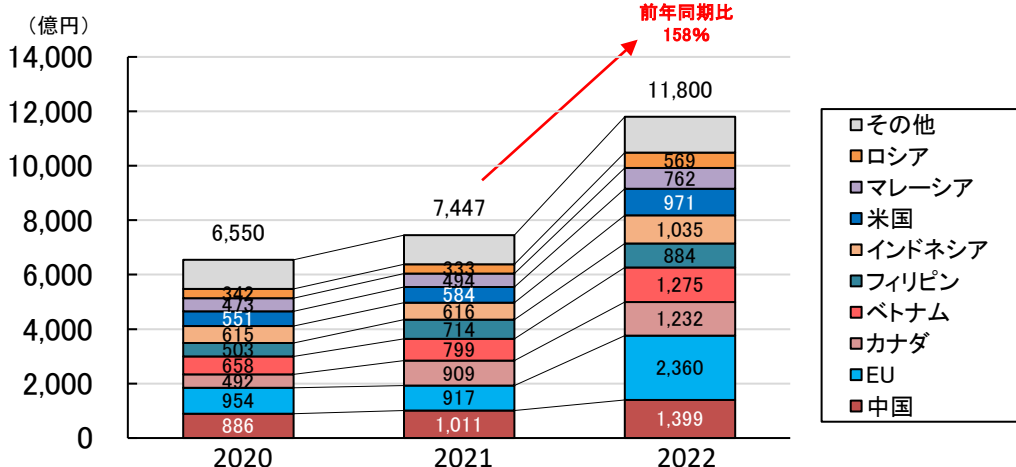
林産物輸出入情報-3 木材輸入額

- 2022年8月の木材輸入額は、前月比107%、前年同月比161%の1,694億円となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国（前年輸入額に占めるシェア14%）が87%、フィリピン（同9%）が96%、米国（同7%）が83%と減少する一方、EU（同14%）が126%、カナダ（同12%）が124%、ベトナム（同10%）が121%、インドネシア（同8%）が106%増加した。
- 前年同月比で見ると、EUが277%、中国が119%、カナダが109%、ベトナムが218%、フィリピンが124%、インドネシアが179%、米国が144%などと軒並み増加した。

(単位: 億円)

年 国名	2021年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2022年 7月	2022年 8月	前月比	前年 同月比	2021年 1～8月	2022年 1～8月	前年 同期比
世界計	12,291	1,578	1,694	107%	161%	7,447	11,800	158%
E U	1,712	300	379	126%	277%	917	2,360	257%
(フィンランド)	557	88	141	161%	289%	296	777	262%
(スウェーデン)	399	62	71	115%	227%	199	520	261%
中 国	1,663	207	181	87%	119%	1,011	1,399	138%
カナダ	1,514	144	179	124%	109%	909	1,232	136%
ベトナム	1,268	189	227	121%	218%	799	1,275	159%
フィリピン	1,123	118	113	96%	124%	714	884	124%
インドネシア	1,029	146	155	106%	179%	616	1,035	168%
米 国	914	143	118	83%	144%	584	971	166%
マレーシア	769	105	113	108%	214%	494	762	154%
ロシア	634	67	64	95%	106%	333	569	171%
その他	1,664	160	166	104%	136%	1,068	1,313	123%
我が国の総輸入額	845,898	102,002	108,800	107%	150%	530,603	749,535	141%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.45%	1.55%	1.56%			1.40%	1.57%	

○2020～2022年の1～8月における木材輸入額(累計)



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

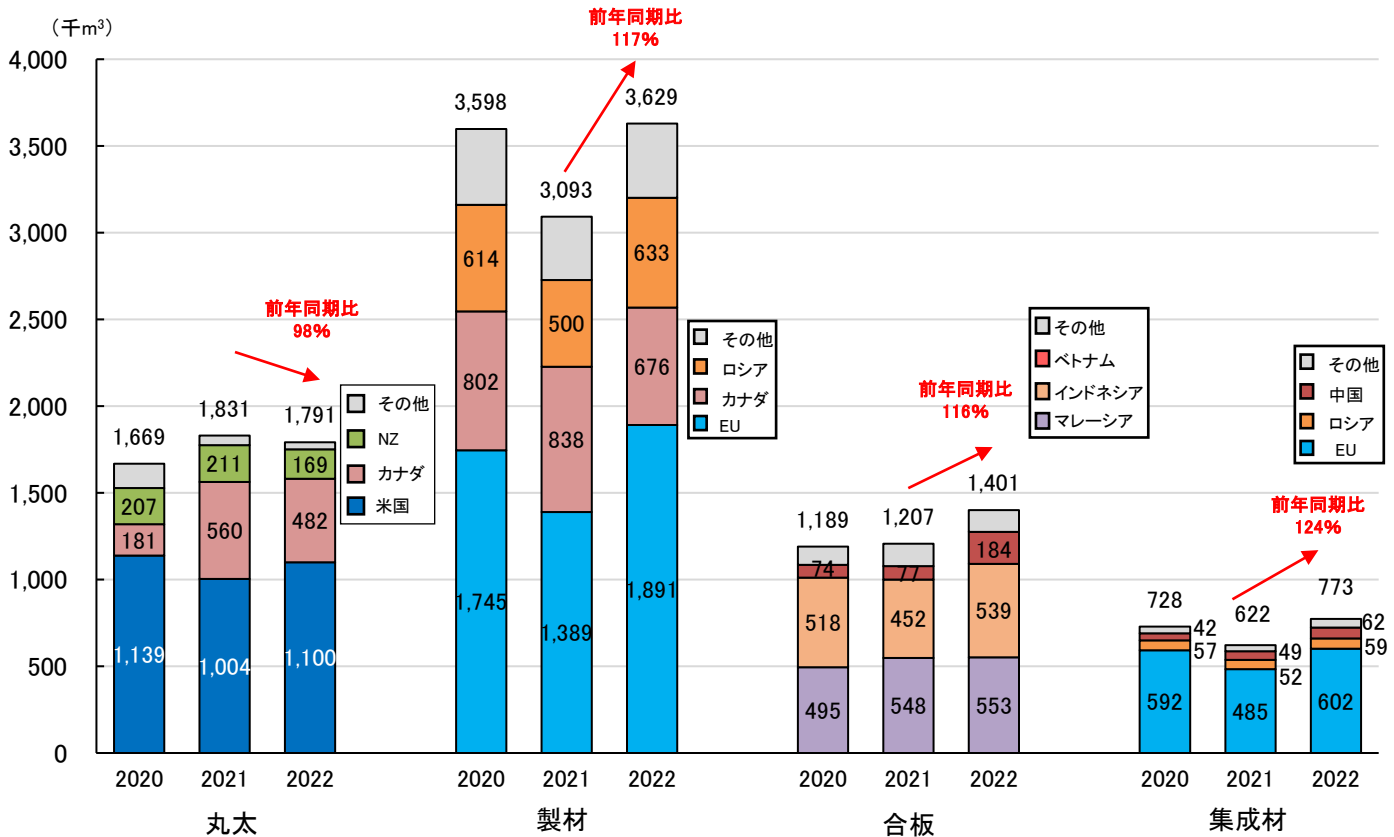
注2：EUに英国は含まない。

注3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報-3 木材輸入量（累計）

- 2022年1～8月における品目別の輸入量は、前年同期比で丸太が98%と減少する一方で、製材が117%、合板が116%、集成材が124%と、増加した。
- なお、2020年同期と比較すると、丸太が107%、製材が101%、合板が118%、集成材が106%。

○2020～2022年の1～8月における品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

(注)2022年2月のエクアドルからの丸太(4403.99-990号)輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2022年8月の丸太輸入量は、前月比137%、前年同月比92%の22万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、米国（前年輸入量に占めるシェア57%）が110%、カナダ（同28%）が223%、ニュージーランド（同12%）が121%と軒並み増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが83%、ニュージーランドが38%と減少する一方、米国が118%と増加した。

（単位：千m³）

材種 国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 7月	2022年 8月	前月比	前年 同月比	2021年 1～8月	2022年 1～8月	前年 同期比
合計	[100%] 2,639	[100%] 163	[100%] 223			[100%] 1,831	[100%] 1,791	
米材	[86%] 2,257	[90%] 146	[88%] 197			[85%] 1,564	[88%] 1,582	
米国	[57%] 1,511	[70%] 114	[56%] 125			[55%] 1,004	[61%] 1,100	
カナダ	[28%] 746	[20%] 32	[32%] 71			[31%] 560	[27%] 482	
南洋材	[1%] 21	-	[3%] 7			[1%] 14	[1%] 14	
インドネシア	[0%] 0	-	-			[0%] 0	[0%] 0	
マレーシア	[0%] 8	-	[3%] 7			[0%] 8	[1%] 14	
パプアニューギニア	[0%] 13	-	-			[0%] 6	-	
ロシア材	[1%] 35	-	-			[1%] 27	[0%] 7	
ニュージーランド材	[12%] 306	[9%] 15	[8%] 18			[12%] 211	[9%] 169	
欧州材	[1%] 13	[1%] 2	[0%] 1			[1%] 11	[1%] 14	
EU計	[1%] 13	[1%] 2	[0%] 1			[1%] 11	[1%] 14	
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 2	
中国	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 2	
その他	[0%] 3	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 2	[0%] 2	

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：2022年2月のエクアドルからの丸太（4403.99-990号）輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2022年8月の製材輸入量は、前月比114%、前年同月比113%の49万^m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、ロシア（前年輸入量に占めるシェア18%）が94%と減少する一方、カナダ（同25%）が120%、EU（同44%）が129%と増加した。
- 前年同月比で見ると、カナダが71%、ロシアが93%と減少する一方、EUが161%と増加した。

（単位：千^m³）

材種 国名	年 2021年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 7月	2022年 8月	前月比	前年 同月比	2021年 1～8月	2022年 1～8月	前年 同期比
合計	[100%] 4,830	[100%] 429	[100%] 490			[100%] 3,093	[100%] 3,629	117%
米材	[28%] 1,361	[18%] 78	[18%] 91			[30%] 925	[21%] 765	83%
米国	[3%] 135	[3%] 12	[2%] 11			[3%] 87	[2%] 89	102%
カナダ	[25%] 1,226	[15%] 66	[16%] 79			[27%] 838	[19%] 676	81%
南洋材	[1%] 56	[1%] 4	[1%] 5			[1%] 35	[1%] 41	117%
インドネシア	[0%] 20	[0%] 1	[0%] 1			[0%] 12	[0%] 14	111%
マレーシア	[1%] 34	[1%] 3	[1%] 4			[1%] 21	[1%] 26	123%
パプアニューギニア	[0%] 0	-	-			[0%] 0	[0%] 0	65%
ロシア材	[18%] 846	[18%] 75	[14%] 71			[16%] 500	[17%] 633	127%
ニュージーランド材	[1%] 57	[1%] 3	[1%] 4			[1%] 38	[1%] 32	85%
チリ材	[5%] 226	[5%] 23	[3%] 14			[4%] 130	[5%] 177	136%
欧州材	[46%] 2,210	[55%] 236	[61%] 300			[46%] 1,427	[53%] 1,932	135%
EU計	[44%] 2,148	[54%] 230	[61%] 296			[45%] 1,389	[52%] 1,891	136%
(スウェーデン)	[16%] 756	[17%] 73	[16%] 81			[16%] 487	[18%] 644	132%
(フィンランド)	[15%] 729	[17%] 74	[22%] 108			[15%] 471	[17%] 612	130%
アフリカ材	[0%] 2	[0%] 0	[0%] 0			[0%] 1	[0%] 1	105%
中国	[1%] 64	[2%] 8	[1%] 5			[1%] 31	[1%] 42	135%
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1			[0%] 6	[0%] 6	103%

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（合板、木材チップ）

- 2022年8月の合板輸入量は、前月比95%、前年同月比121%の17万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、マレーシア（前年輸入量に占めるシェア43%）が89%、中国（同7%）が69%と減少する一方、インドネシア（同38%）が104%と増加した。
- 前年同月比で見ると、マレーシアが115%、インドネシアが123%、中国が153%と増加した。

(単位:千m³)

国名	年	月別数量					累計数量		
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 7月	2022年 8月	前年		2021年 1～8月	2022年 1～8月	前年 同期比
					前月比	同月比			
総輸入量		[100%] 1,865	[100%] 182	[100%] 173			[100%] 1,207	[100%] 1,401	
マレーシア		[43%] 795	[39%] 71	[36%] 63			[45%] 548	[39%] 553	
インドネシア		[38%] 715	[37%] 68	[41%] 71			[37%] 452	[38%] 539	
ベトナム		[11%] 207	[8%] 15	[11%] 18			[10%] 120	[8%] 115	
中国		[7%] 133	[15%] 28	[11%] 19			[6%] 77	[13%] 184	
EU		[0%] 6	[0%] 1	[1%] 1			[0%] 5	[0%] 5	
その他		[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1			[0%] 5	[0%] 7	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：EUに英国は含まない。

- 2022年8月の木材チップ輸入量は、前月比105%、前年同月比108%の94万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、オーストラリア（前年輸入量に占めるシェア18%）が73%と減少する一方、ベトナム（同38%）が110%、チリ（同10%）が122%と増加した。
- 前年同月比で見ると、オーストラリアが88%、チリが53%と減少する一方、ベトナムが125%と増加した。

(単位:千トン)

国名	年	月別数量					累計数量		
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 7月	2022年 8月	前年		2021年 1～8月	2022年 1～8月	前年 同期比
					前月比	同月比			
総輸入量		[100%] 10,996	[100%] 898	[100%] 939			[100%] 7,346	[100%] 7,469	
ベトナム		[38%] 4,132	[43%] 389	[45%] 426			[37%] 2,729	[39%] 2,932	
オーストラリア		[18%] 1,947	[16%] 140	[11%] 102			[18%] 1,333	[17%] 1,265	
チリ		[10%] 1,060	[3%] 29	[4%] 35			[10%] 770	[8%] 606	
南アフリカ共和国		[9%] 1,026	[10%] 88	[12%] 115			[8%] 621	[9%] 705	
米国		[7%] 811	[11%] 103	[7%] 63			[8%] 586	[8%] 616	
その他		[18%] 2,020	[17%] 150	[21%] 199			[18%] 1,307	[18%] 1,345	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2022年8月の集成材輸入量は、前月比118%、前年同月比135%の11万m³となった。構造用集成材に限ると、前月比118%、前年同月比139%の10万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国（前年輸入量に占めるシェア10%）が71%、ロシア（同9%）が71%と減少する一方、EU（同76%）が129%と増加した。EUの国別内訳では、ルーマニア（同15%）が87%と減少する一方、フィンランド（同36%）が165%、オーストリア（同13%）が128%と増加した。
- 前年同月比で見ると、中国が70%、ロシアが59%と減少する一方、EUが153%と増加した。

(単位:千m³)

年 国名	2021年 (1月~12月)	月別数量				累計数量		
		2022年 7月	2022年 8月	前月比	前年 同月比	2021年 1~8月	2022年 1~8月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 967	[100%] 96	[100%] 113			[100%] 622	[100%] 773	124%
うち 構造用集成材	[100%] 832	[100%] 84	[100%] 100			[100%] 543	[100%] 675	124%
E U	[76%] 733	[77%] 74	[84%] 95			[78%] 485	[78%] 602	124%
うち 構造用集成材	[85%] 709	[85%] 72	[93%] 93			[86%] 469	[87%] 587	125%
フィンランド	[36%] 349	[30%] 29	[42%] 48			[38%] 237	[35%] 270	114%
うち 構造用集成材	[41%] 345	[34%] 29	[48%] 47			[43%] 234	[40%] 269	115%
ルーマニア	[15%] 148	[21%] 20	[16%] 18			[14%] 90	[18%] 136	152%
うち 構造用集成材	[17%] 139	[23%] 20	[17%] 17			[15%] 84	[19%] 129	154%
オーストリア	[13%] 126	[12%] 12	[13%] 15			[14%] 84	[11%] 87	104%
うち 構造用集成材	[14%] 116	[13%] 11	[14%] 14			[14%] 77	[12%] 80	104%
中国	[10%] 93	[10%] 9	[6%] 6			[8%] 49	[8%] 62	125%
うち 構造用集成材	[6%] 52	[7%] 6	[3%] 3			[5%] 29	[6%] 38	131%
ロシア	[9%] 84	[7%] 6	[4%] 5			[8%] 52	[8%] 59	112%
うち 構造用集成材	[9%] 71	[7%] 6	[4%] 4			[8%] 45	[7%] 51	113%
その他	[6%] 57	[7%] 7	[6%] 7			[6%] 35	[6%] 50	142%
うち 構造用集成材	[0%] 0	[0%] 0	- -			[0%] 0	[0%] 0	207%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の〔 〕書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：EUに英国は含まない。

6：EUはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2022年8月の木質ペレット輸入量は、前月比108%、前年同月比183%の45万トンとなった。
- 国別に、前月比で見ると、ベトナム（前年輸入量に占めるシェア53%）が137%、カナダ（同34%）が111%と増加した。
- 前年同月比で見ると、ベトナムが194%、カナダが187%と増加した。

（単位：千トン）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 7月	2022年 8月	前月比	前年 同月比	2021年 1～8月	2022年 1～8月	前年 同期比
総輸入量	[100%] 3,117	[100%] 415	[100%] 447	108%	183%	[100%] 1,947	[100%] 2,859	147%	
ベトナム	[53%] 1,647	[44%] 182	[55%] 248	137%	194%	[50%] 983	[53%] 1,527	155%	
カナダ	[34%] 1,058	[31%] 128	[32%] 142	111%	187%	[37%] 712	[32%] 914	128%	
マレーシア	[5%] 156	[1%] 3	[3%] 14	451%	150%	[5%] 101	[3%] 72	71%	
その他	[8%] 256	[25%] 103	[10%] 43	42%	142%	[8%] 152	[12%] 346	228%	

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2022年8月のLVL輸入量は、前月比105%の4.4万m³となった。
- 国別に、前月比で見ると、中国が101%と増加した。

（単位：千m³）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2021年 (1月～ 12月)	2022年 7月	2022年 8月	前月比	前年 同月比	2021年 1～8月	2022年 1～8月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 42	[100%] 44	105%		[100%] 344			
中国		[77%] 32	[74%] 32	101%		[76%] 260			
ベトナム		[20%] 8	[21%] 9	112%		[20%] 67			
インドネシア		[3%] 1	[4%] 2	143%		[4%] 13			
その他		[0%] 0	[1%] 0	184%		[1%] 3			

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

2：LVLは、HSコードの改定に伴い、2022年1月1日より集計可能となったため、2021年以前のデータは存在しない。

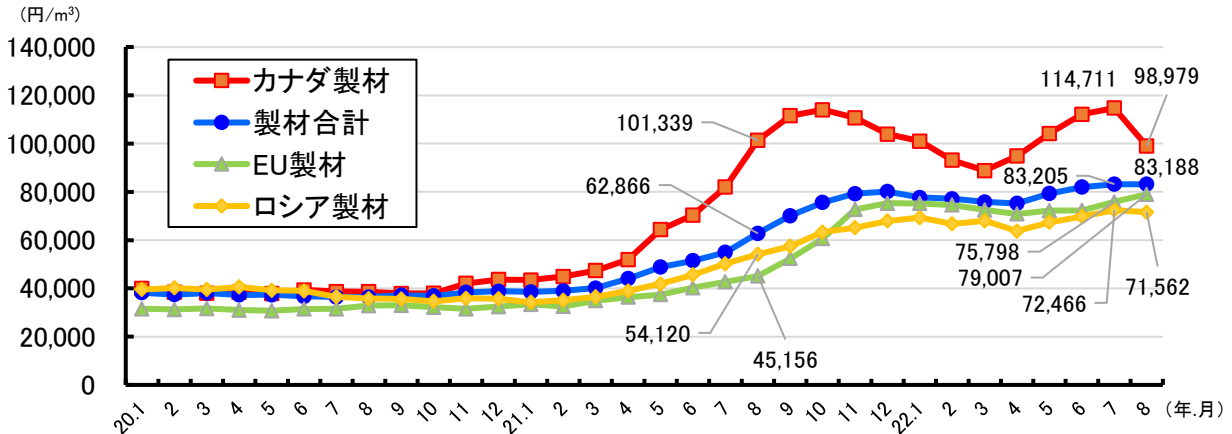
3：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

4：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

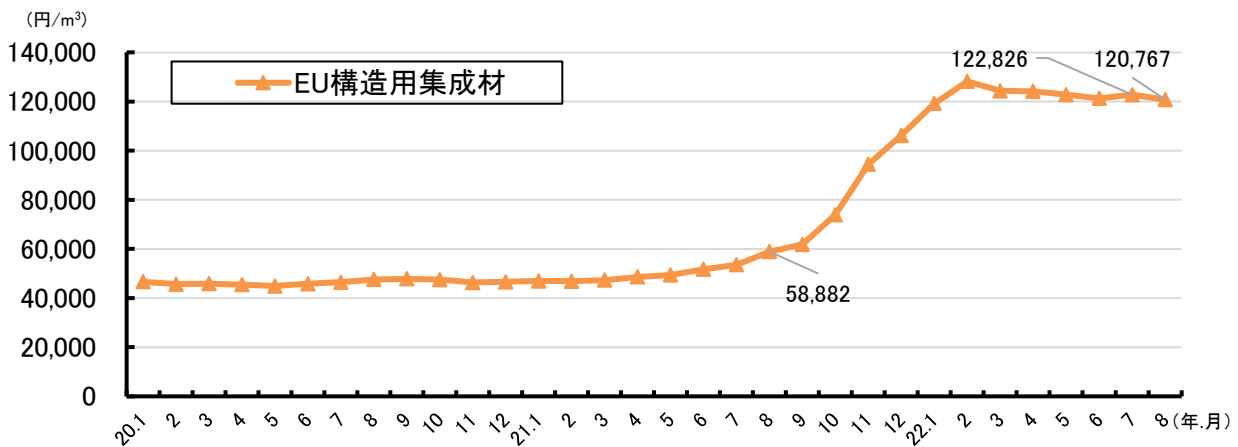
林産物輸出入情報-5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価

- 2022年8月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比100%の83,188円/ m³（前年同月比132%）。うち、カナダの製材は、前月比86%の98,979円/ m³（前年同月比98%）、EUの製材は、前月比104%の79,007円/ m³（前年同月比175%）、ロシアの製材は、前月比99%の71,562円/ m³（前年同月比132%）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比98%の120,767円/ m³（前年同月比205%）。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比99%の107,351円/ m³（前年同月比158%）。

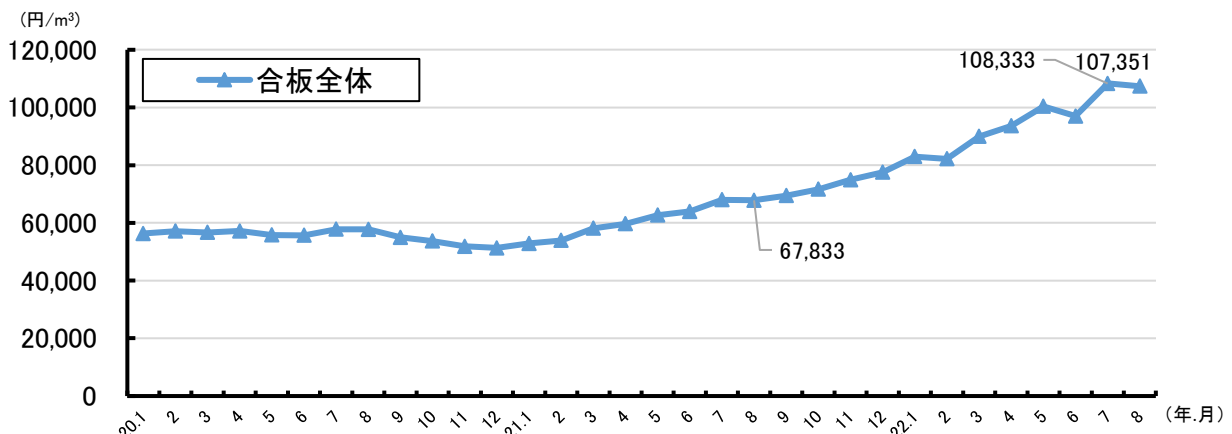
○製材の輸入平均単価



○構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報-1 特用林産物の国内生産量

- 2021年の食用きのこ類の生産量は46万2,021t（対前年比99.9%）となった。
- たけのこの生産量は1万9,917t（対前年比75.3%）となった。
- 木炭の生産量は1万1,806t（対前年比91.2%）となった。

○きのこ類

単位:t

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2011	平成23	97,125	3,696	25,871	71,254	10,735	60,519	25,426	143,189	2,082	118,006	44,453	38,055	643	36
2012	24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39

注:まつたけの1972年までの生産量は、『農林省統計表』による。

○その他食品

単位:t

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2011	平成23	19,100	32,217	2,703
2012	24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,429
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,592	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886

注:くりの2010年~2020年の生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和2年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

○非食品

年次	品目	非食用																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	kl	千本、t	千本、t	t	t	kl	kl
2011	平成23	1,345	16	1,184	631	22,124	1,058	8,044	1,225	87,760	78,258	80	2,214	832	11,160	11,567	2,141	287
2012	24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	10,840	11,567	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,750	832	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,723	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,806	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192

- 木炭、薪の昭和47年までの生産量は『農林省統計表』による。
- 木炭は平成3年から粉炭を含み、平成9年から竹炭を除く。
- 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。
- しきみ、さかきの単位を平成22年より千本からtに変更した。

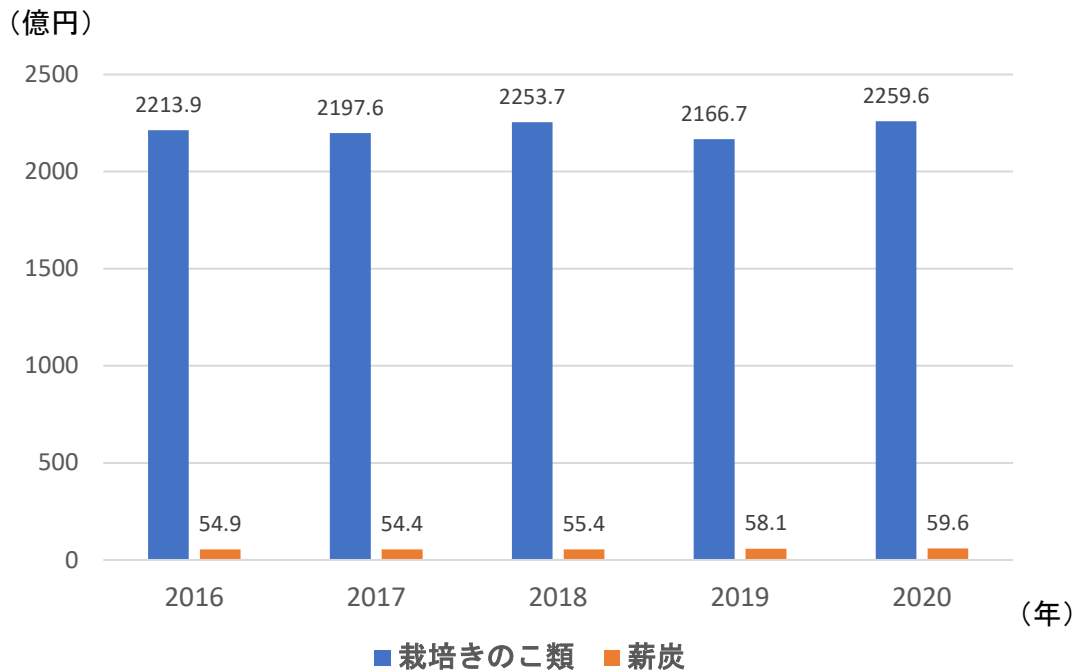
資料: 特用林産基礎資料 (第一報)

特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2020年のきのこ類の林業産出額は2,259.6億円（対前年比104.3%）となった。
- 薪炭の林業産出額は59.6億円（対前年比102.6%）となった。

（単位：億円）

	2016	2017	2018	2019	2020
栽培きのこ類	2,213.9	2,197.6	2,253.7	2,166.7	2,259.6
薪炭	54.9	54.4	55.4	58.1	59.6



資料：農林水産省「令和2年林業産出額」

特用林産情報-3 特用林産物の輸出入量

- 2021年の乾しいたけの輸出量は41トン（対前年比124.2%）、輸入量は4,575トン（対前年比105.1%）。
- 2021年の木炭の輸出量は270トン（対前年比61.5%）、輸入量は84,224トン（対前年比105.6%）。

品目	単位	2017		2018		2019		2020		2021	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	26	5,050	24	4,998	33	4,869	33	4,354	41	4,575
生しいたけ	トン	…	2,108	…	1,942	…	1,835	…	1,785	…	1,988
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	28	24,735	46	26,696	89	25,320	14	23,190	66	22,058
まつたけ	トン	…	787	…	798	…	849	…	629	…	524
くり	トン	…	10,837	…	9,781	…	9,019	…	7,371	…	8,401
くるみ	トン	…	57,536	…	56,389	…	52,236	…	56,478	…	67,581
たけのこ	トン	…	172,499	…	167,868	…	157,296	…	142,544	…	149,780
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	14	…	3	19	7	10	4	9	5	11
生うるし	kg	…	40,925	…	35,879	…	36,254	…	30,165	…	21,910
つばき油	kl	…	154	…	177	…	180	…	220	…	224
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	…	244	1	251	0	215	0	194	0	191
桐材	m ³	…	12,527	…	10,750	…	10,099	…	9,726	…	9,871
木炭	トン	521	141,662	442	144,462	460	143,953	439	79,739	270	84,224
竹炭	トン	0	8,061	0	8,744	0	9,414	12	7,605	2	6,790
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	753	351	833	476	788	1,830	468	2,326	490	7,099
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	56,135	…	53,679	…	54,183	…	44,499	…	37,584
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：財務省貿易統計

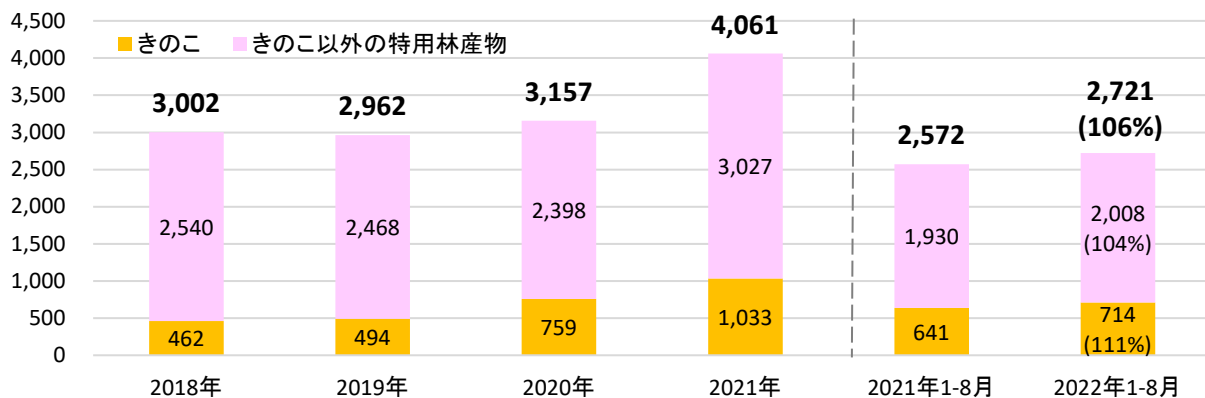
注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの。

特用林産情報-4 特用林産物の輸出額①

- 2022年(1~8月)での特用林産物輸出額は2,721百万円(対前年同期比106%)となった。内訳としては、きのこ(乾しいたけ含む)は、714百万円(対前年同期比111%)、きのこ以外は、2,008百万円(対前年同期比104%)となった。
- 8月輸出額は、273百万円(対前年同月比105%)となった。
- 内訳としては、きのこ(乾しいたけ含む)は80百万円(対前年同月比116%)、きのこ以外の特用林産物は192百万円(対前年同月比101%)となった。

○特用林産物輸出額全体の推移(累計)

(百万円)



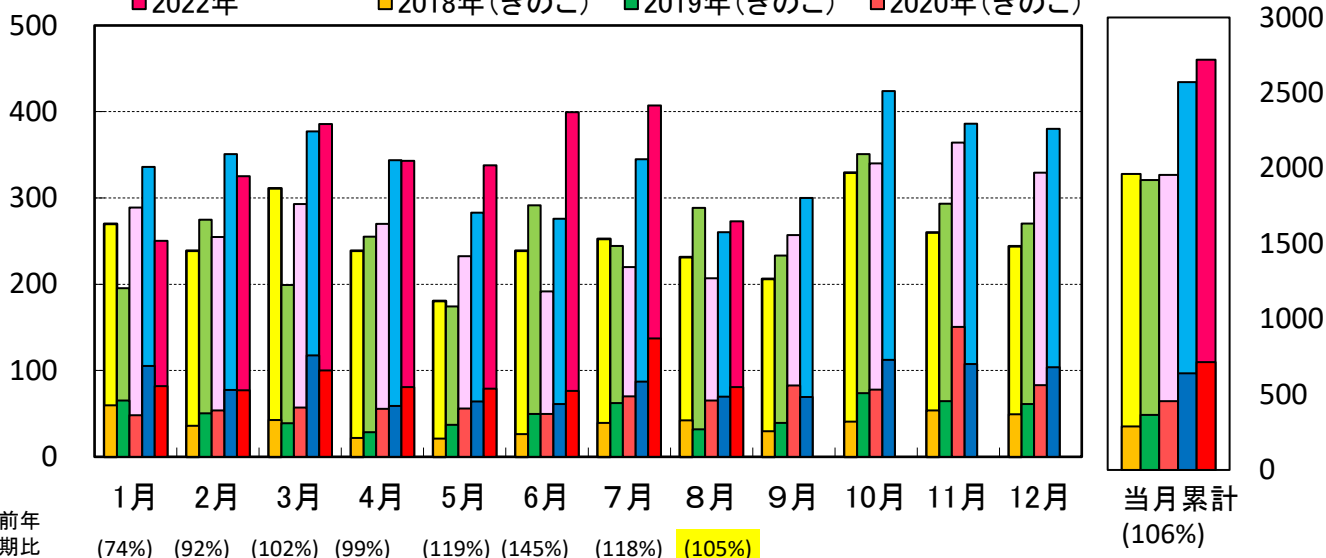
※()は対前年同期比

○特用林産物輸出額全体の推移(月別)

(百万円)

■ 2018年 ■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年
■ 2022年 ■ 2018年(きのこ) ■ 2019年(きのこ) ■ 2020年(きのこ)

(百万円)



資料：財務省貿易統計

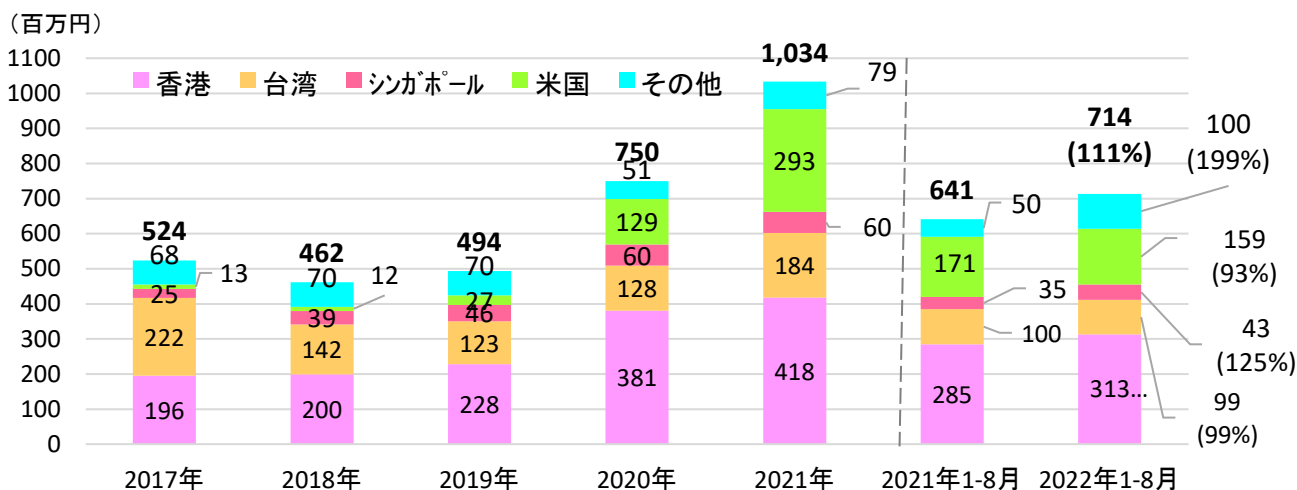
※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

特用林産情報-4 特用林産物の輸出額②

- 2022年（1～8月）のきのこの輸出額は714百万円で、対前年同期比111%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比110%、台湾が99%、シンガポールが125%、米国が93%となっている。
- 同年同期の輸出量は835トンで、対前年同期比117%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比110%、台湾が111%、シンガポールが92%、米国が131%となっている。

○きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



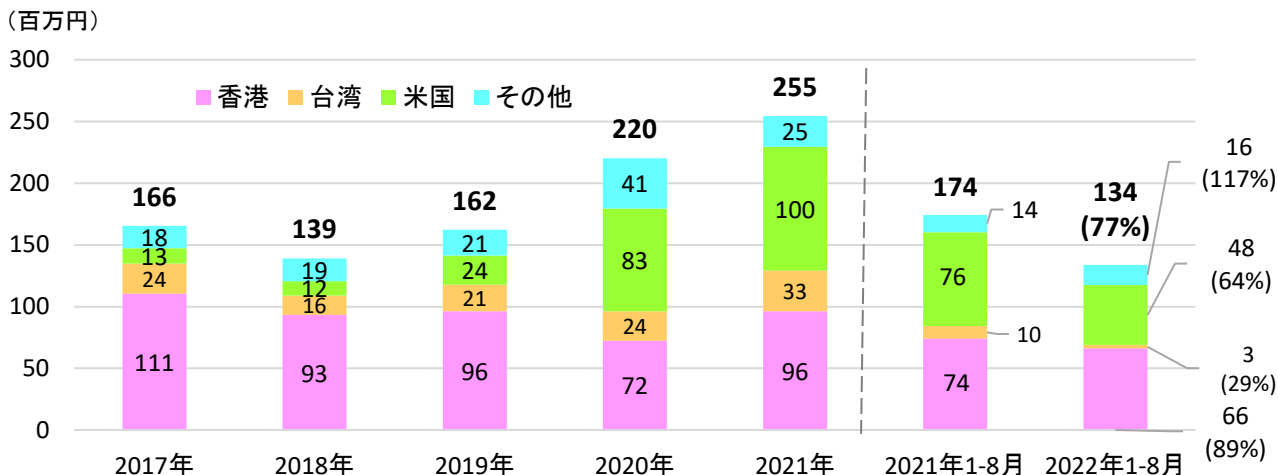
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

- 2022年（1～8月）の乾しいたけの輸出額は134百万円で、対前年同期比77%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比89%、台湾は29%、米国は64%となっている。
- 同年同期の輸出量は28トンで、対前年同期比114%となっている。主要な輸出先では、対前年同期比は香港が73%、台湾が31%、米国が111%となっている。

○乾しいたけ輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計

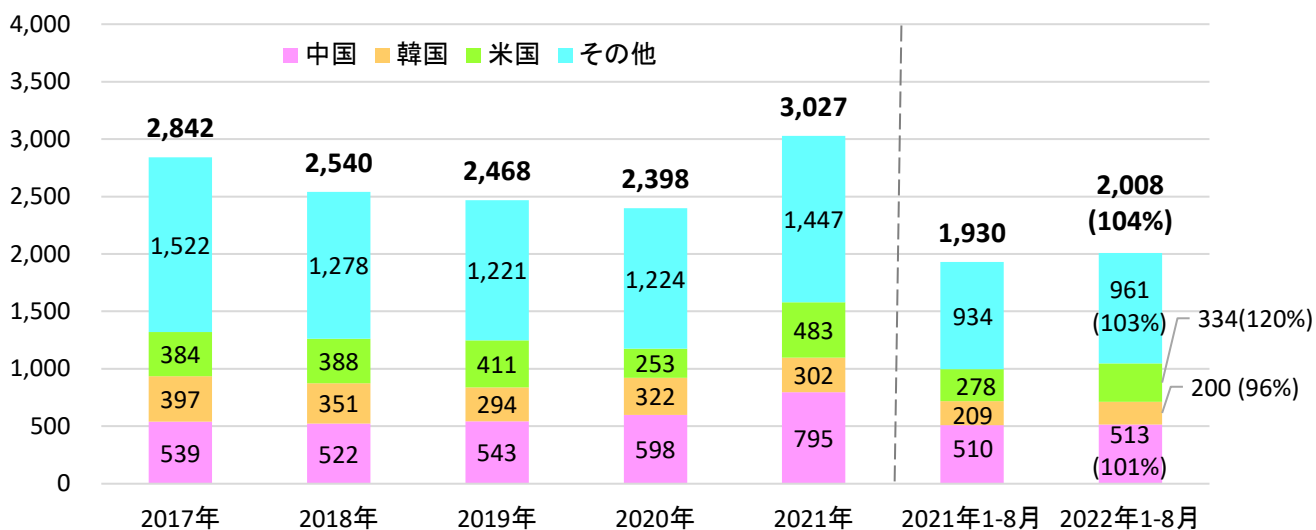
※()は対前年同期比

特用林産情報-4 特用林産物の輸出額③

- 2022年（1～8月）のきのこ以外の特用林産物の輸出額は2,008百万円で、対前年同期比104%となっている。国別には、中国が対前年同期比101%、韓国が96%、米国が120%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比103%、植物性ろうが106%、テルペン油が109%となっている。
- 同年同期の輸出量は1,793トンで、対前年同期比94%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比92%、韓国が71%、米国が106%となっている

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）

（百万円）



資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

- 2020年のきのご類の卸売量は、226,240トン（対前年比95.4%）となった。
- 2020年のきのご類の卸売価額は、生しいたけやえのきだけ等の卸売価格上昇により、106,143,929千円（対前年比102.2%）となった。

きのご類の卸売量

単位：トン

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	47,880	48,399	49,391	49,121	48,466
なめこ	15,993	15,549	16,143	16,193	16,889
えのきだけ	111,255	117,251	111,238	106,291	98,312
しめじ	75,164	72,518	68,505	65,619	62,573
合計	250,292	253,717	245,277	237,224	226,240

きのご類の卸売価額

単位：千円

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	45,972,664	46,171,290	44,690,633	43,515,380	43,780,628
なめこ	7,049,789	6,914,944	7,348,774	7,248,066	7,430,921
えのきだけ	27,160,745	25,534,311	26,329,886	24,221,698	26,244,760
しめじ	32,380,595	31,033,202	30,829,573	28,912,378	28,687,620
合計	112,563,793	109,653,747	109,198,866	103,897,522	106,143,929

きのご類の卸売価格

単位：円/kg

	2016	2017	2018	2019	2020
生しいたけ	960	954	905	886	903
なめこ	441	445	455	448	440
えのきだけ	244	218	237	228	267
しめじ	431	428	450	441	458

資料：青果物卸売市場調査

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

コラム

10月は「木材利用促進月間」です

国民の間に広く木材の利用の促進についての関心と理解を深めるため、漢字の「十」と「八」を組み合わせると「木」という字になることにちなみ、**十月八日を「木材利用促進の日」、十月を「木材利用促進月間」として**昨年法定化されました。これを受け、国等は10月を集中期間として普及啓発の取組を行います。

■「木材利用促進」に関するイベント情報

農林水産省、国土交通省などの国の機関、地方公共団体、木材利用に関連する団体が、木材利用の推進に向け、様々な方々を対象に様々な形のイベント等を多数開催することとしております。以下のウェブサイトで紹介していますので、ぜひご覧ください！

		詳細（ウェブサイトURL）
木材利用促進本部の関連イベント		https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/honbu.html
都道府県等の関連イベント	主に10月開催	https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/event/Oct2022.html
	10月以降も開催	https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/event/Oct2022.html#chouki_Oct

■10月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
森林の仕事ガイダンス	（中央ガイダンス） 東京：10月22日（土） 福岡：11月5日（土） （エリアガイダンス） 全国各地で順次開催	全国33会場 （詳細はHP参照）	森林・林業に関心を持つ方や就業を考える方を対象に実施する説明会・相談会です。 主催：全国森林組合連合会 他 事前申込：要の場合あり（詳細はHP参照） 参加費：無料 詳細： https://www.ringyou.net/guidance/
第1回森林づくり全国推進会議（発足式）&シンポジウム	10月21日（金）	オンライン	SDGs達成やカーボンニュートラル実現に貢献する森林づくりに取り組むことを目的とした本会議の発足式及びシンポジウムです。 主催：（公社）国土緑化推進機構 事前申込：要 参加費：無料 詳細： https://www.green.or.jp/news/zenkoku_suishinkaigi/

セミナー・イベント情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
Japan Home & Building Show 2022	10月26日(水) ～28日(金)	東京ビッグ サイト (有明・ 東京国際 展示場)	建築関連の製品・技術・サービスを一堂に集め、 ビジネスと情報交流を促進する展示会です。 主催：(一社) 日本能率協会 事前申込：要 参加費：無料 詳細： https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/
～美しい地球 は、私達の心 のハーモニー から～ 雨谷麻世 環境チャリ ティコンサー トvol. 81, 82	10月28日(金) 12月21日(水)	東京 カテドラル 聖マリア 大聖堂 他	歌を通じて地球環境の大切さ、命の源である 緑・森の大切さを伝えるコンサートです。 主催：(特非) 太陽の会 (公社) 国土緑化推進機構 Mayo Crystal Music 詳細： http://mayocrystalvoice.com/
令和4年度 川崎駅前 優しい木の ひろば	10月28日(金) ～29日(土)	ラゾーナ 川崎プラザ ルーファ 広場・ ラズーン テラス 他	森林が身近にない本市の市民に、木材利用の意 義や木の良さ・効果を体感していただくため、 公共空間等を活用したイベントを、森林環境譲 与税を活用することで林産地と連携し、令和元 年度から開催しています。 主催：令和4年度川崎駅前 優しい木のひろば実 行委員会 事前申込：一部要 参加費：一部有料 詳細： https://www.city.kawasaki.jp/500/page/0000110705.html
木材利用 優良施設等 コンクール 表彰式及び 記念講演 (令和4年度 「木材利用推進 全国会議」)	10月31日(月)	木材会館 (一般の方 はオンライン 参加)	木材利用の推進に資する施設や取組を評価し、表彰 するコンクールの表彰式です。また、森林を支える 人の輪と木材利用との繋がりに関する記念講演を実 施します。 主催：木材利用推進中央協議会 事前申込：要(申込は以下のURLから) https://www.jcatu.jp/entry_r4/ 詳細： https://www.jcatu.jp/concours/
SUSTAINABLE FOREST ACTION (SFA) 2022 デモデイ	11月5日(土)	GIC TOKYO (東京都港区・ 虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー 15階)	森林林業特化型事業開発プログラムSFA2022の参加 チームが2ヶ月間にわたって検証した事業プランの 審査会が行われます。 主催：(株)Spero 事前申込：要 詳細： https://action.sustainable-forest.com/
第54回全国 建具展示会	11月11日(金) ～12日(土)	東京都立 産業貿易 センター 台東館6階	多様化する住宅の需要に適応するため、優良建 具を一般に展示します。 主催：(一社) 全国建具組合連合会 詳細： https://www.zenkokutategu.com/

セミナー・イベント情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
第12回 「日本の木の 家づくり」 サミット in 関東	11月15日(火) ～11月16日(水)	オンライン	全国の工務店及び住宅関係者が一堂に会し、『自分らしく生き残れ』をテーマに、先進的な地域工務店や有識者から具体的な体験や取り組みを学び、地域工務店として何を為すべきか、これからの住まいづくり・暮らしづくりに必要なことを考えます。 主催：(特非)環境共棲住宅「地球の会」 詳細：現在準備中
第4回純国産 メンマサミット in淡路島	11月26日(土)	洲本市文化 体育館文化 ホール 「しばえも ん座」	“美味しく食べて竹林整備”の純国産メンマを始めとした“資源としての竹”の利活用に関するさまざまな取り組みを紹介します。 主催：純国産メンマプロジェクト 事前申込：要(準備中) 詳細： https://awaji-satoyama.com/4stmenmasummit/
ウッド デザイン賞 2022	●表彰式 12月7日(水) ●受賞作品展示 12月7日(水) ～9日(金)	東京ビッグ サイト (エコプロ 2022)	木の良さや価値を再発見できる建築物、製品や取組について、特に優れたものを評価し、表彰します。 主催：(一社)日本ウッドデザイン協会 詳細： http://www.wooddesign.jp
第30回日本 文化を担う・ 漆の美展	1月20日(金) ～26日(木)	東京都 美術館 ギャラリーB	「漆の美の今の姿」を広く社会に伝える作品を展示し、特に優れたものを評価、表彰します。 主催：(一社)日本漆工協会 事前申込：不要 入場料：無料 詳細： http://www.nihon-shikkou-kyokai.or.jp/

お知らせ

ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ (※)」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

(※) ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



WOOD ▲ CHANGE

WOOD ▲ CHANGE



【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 消費対策班 (TEL : 03-6744-2298)

